建築主体工事							
番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名
D－1	図面リスト	D－51	建具表(7)	D－101	サイン計画図(1)	S－1	構造設計標準仕様
D－2	工事区分表	D－52	天井伏図(1階)	D－102	サイン計画図(2)	S－2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
D－3	特記仕様書(1)	D－53	天井伏図(2階)	D－103	サイン計画図(3)	S－3	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
D－4	特記仕様書(2)	D－54	展開図(1) (学生自習室(ﾊﾟｿｺﾝ室)、学生談話室)	D－104	サイン計画図(4)	S－4	鉄骨構造標準図(1)
D－5	特記仕様書(3)	D－55	展開図(2) (小食堂室(1)、保健指導室、消火栓ポンプ室、カウンセリング室)	D－105	サイン計画図(5)	S－5	鉄骨構造標準図(2)
D－6	特記仕様書(4)	D－56	展開図(3) (保健指導室(フリースペース)、給湯室、第食堂室)	D－106	エキスパンション・ジョイント詳細図	S－6	構造用集成材躯体木工事仕様書
D－7	特記仕様書(5)	D－57	展開図(4) (高校記念室、小食堂室(2)、多目的WC)	D－107	仮設計画図(1)	S－7	基礎伏図
D－8	特記仕様書(6)	D－58	展開図(5) (WC(M)、WC(L))	D－108	仮設計画図(2)	S－8	基礎詳細図(1)
D－9	一般概要・外部仕上表	D－59	展開図(6) (図書室)	D－109	法規チェック　木造仕様(防火被覆一覧)	S－9	基礎詳細図(2)
D－10	内部仕上表(1)	D－60	展開図(7) (図書事務館長室(資料室)、図書学生自習室、閉架書庫)	D－110	法規チェック　1階平面図	S－10	1階床伏図
D－11	内部仕上表(2)	D－61	展開図(8) (エントランスホール、西側廊下(WC横))	D－111	法規チェック　2階平面図	S－11	2階床伏図
D－12	内部仕上表(3)	D－62	展開図(9) (1階廊下)	D－112	法規チェック　冬至の日の時間ごとの日影図	S－12	小屋伏図(1)
D－13	配置図・案内図	D－63	展開図(10) (コース別教室(1))	D－113	法規チェック　冬至の日の等時間日影図	S－13	小屋伏図(2)
D－14	敷地面積求積図・求積表	D－64	展開図(11) (一般教室A)	D－114	法規チェック　開口部のチェック計算	S－14	屋根伏図
D－15	建物面積求積図・求積表	D－65	展開図(12) (コース別教室(2)、(3))			S－15	軸組図(1)
D－16	1階平面図	D－66	展開図(13) (講堂(視聴覚室))			S－16	軸組図(2)
D－17	2階平面図	D－67	展開図(14) (講堂(視聴覚室)、倉庫3)			S－17	軸組図(3)
D－18	3階平面図	D－68	展開図(15) (倉庫(1)、(2)、多目的WC、WC(M))			S－18	軸組図(4)
D－19	4階平面図	D－69	展開図(16) (WC(L)、渡り廊下)			S－19	軸組図(5)
D－20	地下ピット平面図	D－70	展開図(17) (2階西側廊下・学生ラウンジ)			S－20	軸組図(6)
D－21	立面図・断面図(1)	D－71	展開図(18) (2階廊下)			S－21	軸組図(7)
D－22	立面図・断面図(2)	D－72	外部雑詳細図(1) (屋根:換気棟、ケラバ、下り谷、軒先)			S－22	軸組図(8)
D－23	立面図・断面図(3)	D－73	外部雑詳細図(2) (外壁構成側面:施工手順)			S－23	軸組図(9)
D－24	矩計図(1)	D－74	外部雑詳細図(3) (地下ピット、消火水槽、植込み立上り)			S－24	軸組図(10)
D－25	矩計図(2)	D－75	外部雑詳細図(4) (カルバート連結BOX、カルバート、バックヤード配管小屋)			S－25	軸組詳細図(1)
D－26	矩計図(3)	D－76	内部雑詳細図(1) (外壁面、間仕切壁、遮音間仕切壁、遮音2階床及び1階天井)			S－26	軸組詳細図(2)
D－27	矩計図(4)	D－77	内部雑詳細図(2) (CLT壁パネル、木虫籠(ｷﾑｽｺ)風目除けルーバー)			S－27	接合詳細図(1)
D－28	屋内階段詳細図(1)	D－78	内部雑詳細図(3) (エントランス棚、保健指導室カウンター、WC洗面カウンター、ライニング腰壁)			S－28	接合詳細図(2)
D－29	屋内階段詳細図(2)	D－79	内部雑詳細図(4) (天井吊カーテンレール、消火器BOX、歴代校長写真掛け、ベッド上棚)			S－29	接合詳細図(3)
D－30	屋内階段詳細図(3)	D－80	黒板・白板・掲示板　キープラン1F			S－30	ピロティ・渡り廊下詳細図
D－31	屋外階段詳細図	D－81	黒板・白板・掲示板　キープラン2F			S－31	鉄骨階段詳細図
D－32	平面詳細図　1F—(1)	D－82	黒板・白板・掲示板　詳細図(1)			S－32	RC外部階段詳細図
D－33	平面詳細図　1F—(2)	D－83	黒板・白板・掲示板　詳細図(2)				
D－34	平面詳細図　1F—(3)	D－84	木＋アルミ複合サッシ詳細図(1)				
D－35	平面詳細図　1F—(4)	D－85	木＋アルミ複合サッシ詳細図(2)				
D－36	平面詳細図　1F—(5)	D－86	給湯室・保健指導室　流し台設備詳細図				
D－37	平面詳細図　2F－(1)	D－87	講堂　講義机・椅子　詳細図(1)　:参考図				
D－38	平面詳細図　2F－(2)	D－88	講堂　講義机・椅子　詳細図(2)　:参考図				
D－39	平面詳細図　2F－(3)	D－89	講堂　木製床組　詳細図				
D－40	平面詳細図　2F－(4)	D－90	講堂　鋼製床組　詳細図				
D－41	平面詳細図　2F－(5)	D－91	講堂　吊物取付　平面図(スクリーン・暗幕)				
D－42	平面詳細図　渡り廊下1F、2F	D－92	講堂　吊物取付　詳細図及び単結図				
D－43	建具キープラン 1F	D－93	OAフロア　詳細図				
D－44	建具キープラン 2F	D－94	図書室家具図　仕様書				
D－45	建具表(1)	D－95	図書室家具図　レイアウト平面図				
D－46	建具表(2)	D－96	図書室家具詳細図(1)　:参考図				
D－47	建具表(3)	D－97	図書室家具詳細図(2)　:参考図				
D－48	建具表(4)	D－98	図書室家具詳細図(3)　:参考図				
D－49	建具表(5)	D－99	図書室家具詳細図(4)　:参考図				
D－50	建具表(6)	D－100	図書室家具詳細図(5)　:参考図				

綜合建築設計事務所
一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号
一級建築士 登録 第 110879号 小林 一

承認	設計	担当	

縮尺

設計年月日 00・00・00

工事名称　大月短期大学新校舎建設工事

図面名称　図面リスト

D－1

No,

工 事 区 分 表

項　　目	建築主体	電気設備	機械設備	外構工事	備考
1 ルーフドレイン及び縦樋の設置	○				
2 外部縦樋から桝又はＶＳ側溝までの引き込み			○		
3 設備用躯体貫通孔スリーブ		○	○		
4 同上用　型枠墨出し、建込み		○	○		
5 同上用　補強筋	○				
6 天井点検口、ＰＳ点検口	○				
7 天井設備器具取付、切込み		○	○		
8 同上　開口補強	○				
9 天井埋設換気扇			○		
10 壁換気扇、取付枠及びフード取付			○		
11 換気扇サッシュ取付用パネルとその穴開け	○				
12 給気口ガラリ			○		
13 換気扇用電源及びスイッチ		○			
14 消火器ＢＯＸ及び消火器	○				
15 屋内消火栓			○		
16 同上用　配線、及び起動押ボタン表示灯、電鈴		○			
17 消火水槽及び防水仕上	○				
18 地下ピット及び点検用タラップ	○				
19 ミニキッチンセット（既製品）、混合栓セット品	○				
20 同上用　給水・給湯・排水管・ダクト・電源接続		○	○		
21 給湯室流し台機器	○				
22 同上　換気フード	○				
23 同上用　給水・給湯・排水管接続・電気接続		○	○		
24 ＷＣ　手洗いカウンター	○				
25 同上用　はめ込み手洗い器			○		
26 洗面器前面等　化粧鏡	○				ＷＣ以外も建築主体
27 衛生器具用　手摺	○		○		トイレパック付は機械
28 図書室の書架全般、及び、移動書架用レール取付					○
29 階段教室の机、椅子					○
30 トイレ ブース及び壁面の器具取付用下地補強	○				
31 キュービクル・発電機・受水槽・バルクタンク・エアコン基礎の設置		○	○		
32 同上　フェンス囲い工事				○	
33 ドアガラリ及び天井裏給気口	○				
34 カーテン・ブラインド、ＢＯＸ及びレール共	○				
35 足洗い場シャワー（既製品）の設置			○		
36 同上　給湯、給水、排水、電源の設置		○	○		
37 ライニング腰壁及び甲板（設備用穴開け及び補修共）	○				
38 設備用吊ボルト及びインサート類の打込み		○	○		
39 機械設備機器・附属制御盤への電源供給		○			
40 床点検口の設置	○				
41 トイレパック・オストメイトパック・ベビーベッドの取付及び配管接続、電源接続		○	○		
42 屋外広場及び犬走り部分の磁器質タイル仕上げ	○				
43 中庭工事				○	
44 建物周りの排水工事	○			○	渡り廊下土間下は建築
45 フェンス工事				○	
46 植栽工事（客土共）				○	
47					

項　　目	建築主体	電気設備	機械設備	外構工事	備考
48 防火区画間仕切壁（準耐火１時間）の貫通部分の耐火処理		○	○		
49 竣工引渡しまでの工事用電力・用水・使用料金	○	○	○		
50					
51					
52					
53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					
61					
62					
63					
64					
65					
66					
67					
68					
69					
70					
71					
72					
73					
74					
75					
76					
77					
78					
79					
80					

綜合建築設計事務所
一級建築士事務所 登録(梨)第1－19366号
一級建築士 登録 第 110879号 小林一

承認	設計	担当		縮尺
				設計年月日

工事名称　大月短期大学新校舎建設工事

図面名称　工事区分表

D－2

No,

大月短期大学新校舎建設工事

仕　様　書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　山梨県大月市御太刀１－１６－２

2．敷地面積　16,163.53 ㎡

3．工事種目　改築工事

4．工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち ＿＿＿＿＿＿ の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

②仮設工事	＊ 工事範囲全て ・
③土工事	
④地業工事	
⑤鉄筋工事	
⑥コンクリート工事	
⑦鉄骨工事	
⑧コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成形セメント板工事	
⑨防水工事	
⑩石工事	
⑪タイル工事	
⑫木工事	
⑬屋根及びとい工事	
⑭金属工事	
⑮左官工事	
⑯建具工事	
⑰カーテンウォール工事	
⑱塗装工事	
⑲内装工事	
⑳ユニット及びその他の工事	
㉑排水工事	
22 舗装工事	
23 植栽工事	
24 その他	

Ⅱ　建築工事仕様

1．共通仕様
（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という。）による。
（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の工事仕様書は（　　／　　）図、機械設備工事の工事仕様書は（　　／　　）図による。

2．特記仕様
（1）項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。　⊙ 印の付かない場合は、＊印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ⊗印の付いた場合は、共に適用する。
（3）特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
（4）特記事項に記載の（別　　）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。
（6）図 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

項 目	特　記　事　項

1．一般共通事項

①適用基準等
⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　最新版）
⊙ 建築鉄骨設計基準（建設大臣官房官庁営繕部監修　最新版）
⊙ 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）
⊙ 営繕工事完成図書作成要領（案）（関東地方建設局営繕部監修　最新版）
⊙ 鉄筋コンクリート構造配筋要領（建設大臣官房官庁営繕部監修　最新版）
・　（1.1.4）

②工事実績情報の登録　＊適用する

③品質計画　（1.2.2）
＊建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。
＊風速（Ｖo＝３０　　）
＊地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ）
・積雪区分　建告示第1455号　別表（２７）
・

④電気保安技術者　（1.3.3）
工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
＊要　　・不要

5 条件明示項目　（1.3.5）
・

⑥発生材の処理等　⊗現場説明書による　⊙構外搬出適切処理　（1.3.8）

⑦建築材料等
本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳ及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（１）～（６）の事項を満たすものとする。
（１）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
（２）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
（３）安定的な供給が可能であること
（４）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
（５）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
（６）販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会　他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

⑧化学物質を放散する建築材料等
本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の１）から５）を満たすものとする。
１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
３）接着剤はフタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
５）１）、３）及び４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第２０条の５第４項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるＪＡＳ規格品
ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
ｂ．接着剤等不使用
ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
ｄ．ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
ｆ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種
①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品
③旧ＪＩＳのＥｏ規格品
④旧ＪＡＳのＦｃｏ規格品

⑨特別な材料の工法　標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑩技能士　（1.5.2）

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	⊙鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	⊙型枠施工
鉄骨工事	⊙とび
ブロック・ＡＬＣパネル工事	⊙ブロック建築　・ＡＬＣパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　⊙合成ゴム系シート防水工事作業 ⊙塗膜防水工事作業　⊙シーリング防水工事作業
石工事	⊙石材施工（石張り施工）
タイル工事	⊙タイル張り
木工事	⊙建築大工
屋根及びとい工事	⊙建築板金（内外装板金作業）
金属工事	⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	⊙左官
建具工事	⊙サッシ施工　⊙ガラス施工　⊙自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	⊙塗装（建築塗装作業）
内装工事	⊙プラスチック系床仕上げ工事作業 ⊙ボード仕上げ工事作業　・表装（壁装作業）
植栽工事	⊙造園

⑪化学物質の濃度測定　（1.5.9）
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度測定し、報告すること。
測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定　・行う
測定対象室　・図示　⊙1階：エントランスホール、廊下、学生自習室、学生談話室、保健指導室、大会議室、高校記念室、図書室、図書学生自習室
⊙2階：コース別教室×３、一般教室×２、講堂×２、廊下学生ラウンジ×２
測定箇所数　・図示　⊙１８か所
報告の様式等については、現場説明書による。

⑫完成図等　（1.7.1～3）（表1.7.1）
＊作成する　・作成しない
＊完成図　提出部数　＊各２部　⊙ ２部（A3版第２原図及び電子媒体（ＣＤ－Ｒ））
＊施工計画書　提出部数　＊１部　⊙ ２部
＊施工図　提出部数　＊１部　⊙ ２部
＊保全に関する資料　提出部数　＊１部　⊙ ２部

⑬完成写真
下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ（mm）
⊙カラー ＊キャビネ版 ＊べた焼 （他に外観正面１カットのみ５枚（カラーキャビネ版）提出）	外部（１０）内部（４０）	＊２　・６	＊１００×１２５以上 ・
＊カラー半切木製パネル ３２４×４００（mm）	外部（　）内部（　）	＊２　・	
⊙電子データ	外部（１０）内部（４０）	＊２　・	＊１０００万画素以上 ＊３００ｄｐｉ以上

１００×１２５以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめべた焼を提出し確認を受ける。
電子データは、ＲＧＢ（フルカラー）、ＪＰＥＧ形式最高画質とし、ＣＤ－Ｒにて提出とする。
撮影業者　＊監督職員の承諾する撮影業者（ただし,建築完成写真撮影の実績のある業者とする.）

⑭設備工事との取合い　設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑮設計ＧＬ　＊図示　⊙設計ＧＬ＝現状ＧＬ：既存Ｃ号館エレベーターホール中央部分を設計ＧＬ＋３００とする。

⑯工事写真　⊙「営繕工事電子納品要領（案）（平成１４年１１月改訂版）」による。

⑰施工図等の取扱い　⊙施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

2．仮設工事

1 監督職員事務所　規模及び仕上げの程度は現場説明書による　（2.3.1）
②工事用水　構内既存の施設　＊利用できない　⊙利用できる（＊有償　・無償）　（2.3.1）
③工事用電力　構内既存の施設　＊利用できない　⊙利用できる（＊有償　・無償）　（2.3.1）

3．土工事　（ 構造図による。）

①埋戻し及び盛土　種別　・Ａ種　＊Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　（3.2.3）（表3.2.1）
・建設汚泥から再生した処理土　G

②建設発生土の処理　＊現場説明書による　⊙構外搬出適切処理　（3.2.5）
・構内指示の場所にたい積　・構内指示の場所に敷き均し

4．地業工事　（ 構造図による。）

1 既製コンクリート杭地業　種類　（4.3.1～2）
＊高強度プレストレストコンクリート杭
・

	杭径（mm）	杭長（m）及び種別	継手数	セット数	備考
試験杭					
本　杭					

綜合建築設計事務所
一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号
一級建築士 登録 第 110879号 小林 一

承　認	設　計	担　当	

縮　尺
設計年月日

工事名称　大月短期大学新校舎建設工事
図面名称　特記仕様書（１）

D－3
No,

杭頭の処理　※切断しない　・　(4.3.7)
先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形　(4.3.2)
杭の継手　建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。　(4.3.6)
施工法　(4.3.3~5)
・特定埋込み杭工法
工法　・プレボーリング拡大根固め工法　・中堀拡大根固め工法
H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法
杭周固定液　・使用する
・

2 場所打ちコンクリート杭地業
セメントの種類　6章コンクリート工事のセメントの種類による
コンクリートの種別及び設計基準強度　(4.5.3)(表4.5.1)
(　　)種かつ(　　)N/mm² 以上
鉄筋の種類　5章鉄筋工事の鉄筋の種類による　(4.5.3)
堀削工法　・アースドリル工法(・安定液使用　・無水堀削)　(4.5.4)
・リバース工法
・オールケーシング工法(孔内の水張　・行う　・行わない)
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　(4.5.5)
・拡底杭工法(※安定液使用　・　)
・
側壁測定　・行う(　　)　・行わない　(4.5.4)
セメントの種類　6章コンクリート工事のセメントの種類による

③砂利地業　※再生クラッシャラン　Ⓖ　・切込み砂利及び切込み砕石　(4.6.3)

④床下防湿層　施工箇所　※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)　(4.6.6)

5. 鉄筋工事　(特記なき事項は構造図による。)

1 鉄筋の種類　(5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名(mm)
・SD295A	※D16以下　・
・SD345	※D19以上　・
・	
・	

2 鉄筋の継手　呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手　(5.3.4)

3 鉄筋の最小かぶり厚さ　最小かぶり厚さは目地底から算定する。　(5.3.5)
・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	標仕表5.3.6の値に加える寸法(mm)
・柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10　・
・	

4 既製コンクリート杭の杭頭補強　・A形　・B形　※図示　(5.3.1)(別1.1)

5 最上階柱頭補強　※行う　・行わない　(別2.1)

6 帯筋　※H形(口は除く)　・　(別2.2)

⑦壁開口部の補強　一般壁　・A形　※B形　・図示　(別4.2)(別表4.3~4)
耐震壁　※図示

⑧梁貫通孔の補強形式　※H形　・MH形　・M形　(別7.1)(別表7.1~3)

9 機械吊上げ用フック　・A種　・B種　・C種(　　ヶ所)　(別7.3)

⑩圧接完了後の試験　⊗超音波探傷試験　⊙引張試験　(5.4.9)

6. コンクリート工事　(特記なき事項は構造図による。)

1 普通コンクリートの設計基準強度　(6.1.4)

設計基準強度Fc(N/mm²)	施工箇所
※21	建物躯体(建物内土間コンクリートを含む)
・18	
・	

2 レディーミクストコンクリートの類別　※1類　・Ⅱ類　(6.1.5)(6.4.1~2)(表6.1.1)

3 スランプ　工作物のスランプ　15又は18cm　(6.2.3)

4 セメントの種類　(6.3.2)(6.13.2)(6.16.2)(表6.3.1)
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
・高炉セメントB種　Ⓖ(・　　)
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7d	352J/g以下
	28d	402J/g以下

5 骨材の種類　アルカリシリカ反応による区分　(6.3.3)(6.5.4)
※A
・B(※コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m³ 以下)

6 混和材料　※混和剤　・混和材　(6.3.5)(6.4.8)

7 無筋コンクリート　設計基準強度　※18N/mm²　(6.14.3)

8 コンクリート躯体表面の処理　外装タイル後張り面の躯体表面の処理
MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm² 以上かつ、2.5分/m² 以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。
コンクリートの増打ち厚さ　※20mm　・
※施工範囲は図示による。

9 断熱材兼用型枠　適用及び適用個所について
標仕19章内装工事14断熱材による。

7. 鉄骨工事　(特記なき事項は構造図による。)

1 鉄骨の製作工場　製作工場の加工能力　(7.1.3)
・監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(　)グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。
入熱、パス間温度の溶接条件
適用箇所　・図示　・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件
※図示　・

2 施工管理技術者　適用する　(7.1.4)

3 鋼材　鋼材の材質　(7.2.1)(7.2.10)(表7.2.1)

種類の記号	使用箇所	規格等
		※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による
		※JIS規格による

4 スカラップ　改良型スカラップ

5 エンドタブ　鋼製エンドタブ
切断する個所(　　)

6 高力ボルト　※トルシア形高力ボルト　・JIS形高力ボルト　・溶融亜鉛めっき高力ボルト　(7.2.2)(7.12.4)

7 溶接部の試験　AOQL　※4.0%　・2.5%　(7.6.11)
検査水準　※第6水準　・図示　(7.6.11)(表7.6.2)

試験の種別	試験箇所	試験方法
※超音波探傷試験	完全溶込み溶接部	※標仕7.6.11(b)による ・図示
・放射線試験		
・マクロ試験		

⑧耐火被覆　(7.9.2~6)

種　別		所要性能及び適用構造部位
⊙耐火塗装		1階ピロティ柱
⊙耐火材吹付け	⊙乾式吹付けロックウール ・半乾式吹付けロックウール	渡り廊下:2階柱、梁全て
	・湿式ロックウール	
	・	
・耐火板張り		

⑨アンカーボルトの保持及び埋込み工法
・構造用アンカーボルト　(※図示　・　)
⊙建方用アンカーボルト　(・A種　※B種　・C種)　(7.10.3)(表7.10.1)

⑩柱底均しモルタル工法　※A種　・B種　(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)
無収縮モルタル

混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウムサルファルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。
セメント	JIS R 5210(ポルトランドセメント)による普通または早強ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。
配合比	(各重量比)　(セメント+混和材):砂=1:1

無収縮モルタルの品質及び試験方法

コンシステンシー	Jロートによる流下時間 練混ぜ完了から3分以内の値は　8±2秒
ブリージング	練り混ぜ2時間後のブリージング率　:　2.0%以下
凝結時間	凝結開始時間　1時間以上 終結時間　10時間以内
無収縮性	材齢7日　収縮しないこと
圧縮強度	材齢3日　25.0N/mm² 以上 材齢28日　45.0N/mm² 以上
付着強度	材齢28日　3.0N/mm² 以上
塩化物量	0.30kg/m³ 以下
試験方法	1)日本道路公団規格(JHS)「無収縮モルタル品質管理試験方法」312-1992による。 2)塩化物量は、JIS A 5308「レディミクストコンクリート」付属書5(規定)「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

⑪溶融亜鉛めっき工法　(7.12.3)(表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材　料	適用部位
A種	最低板厚4.5mm以上の形鋼、鋼板	外部階段、接合金物、アンカーボルト等
B種	最低板厚3.2mm以上、4.5mm未満の形鋼、鋼板	
C種	普通ボルト、アンカーボルト 最低板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

素地ごしらえは、JIS H 9124溶融亜鉛めっき作業指針による。

8. コンクリートブロック・ALC・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造　※空洞ブロック16　・空洞ブロック16-W　(8.2.2)

2 コンクリートブロック帳壁及び塀　※標仕表8.3.1及び下表による　(8.3.2)

適用箇所		厚さ(mm)
・間仕切壁　・地下二重壁　・外壁		・
・塀	高さ 2m以下	・120
	高さ 2mを超える	・150
・衛生配管用裏積みブロック		・100 ・

③ALCパネル　※既存C号館の外壁ALCの部分的な解体(切断)及び補強　(8.4.2~6)(表8.4.3~4)

種　類	単位荷重(N/m²)	厚さ(mm)	取付け工法種別	
⊙外壁パネル	・1180　・1960	※100　・	・A種　・B種　・C種	
・間仕切壁パネル		※100　・	・B種　・C種　・D種　・E種	
・屋根パネル	・980	※100　・	※標仕8.4.6による	
・床パネル	・2350　・3530	・100　・150		

・床パネルの耐火性能(・1時間　・2時間)

4 押出成形セメント板(ECP)　(8.5.2~6)(表8.5.1~2)

種　類	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法種別
・外壁パネル	※F　・F-R			・A種 ・B種
	・D　・D-R			
	・T　・T-R			
・間仕切パネル	※F　・F-R			・B種 ・C種
	・D　・D-R			
	・T　・T-R			

耐火性能　・有り(　　)
・無し

9. 防水工事　(三者連名、10年間保証付とする。)

1 アスファルト防水　(9.2.2~3)(表9.2.3~8)

種　別	施工箇所
※AI-2	
・A-2	
・D-2	
・BI-2	床型枠用鋼製デッキプレートを使用したコンクリートスラブ
・	

アスファルト　※3種　・4種　(9.2.2)
断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※25　・　(9.2.2)
ただし、特定フロンを含まないもの。
立上り部の保護
・乾式保護材　※押出成形セメント板(厚さ　15mm)　(9.2.5)

2 改質アスファルトシート防水　(9.3.2~4)(表9.3.1)

種　別	・AS-1　・AS-2	厚　さ	(　　)
施工箇所	・		

③合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.2~3)(表9.4.1)

種　別	厚さ(mm)	施工箇所	仕上げ塗料塗り	使用分類
⊙S-F1	※1.2　・		・シルバー	※非歩行
・S-F2	※2.0　・		・カラー	⊙軽歩行
・S-M1	※1.5　・		⊙防火コート	
・S-M2	※1.5　・			
・S-M3	※1.2　・			

④塗膜防水　(9.5.2~3)(表9.5.1~2)

種　別	施工個所	備　考
・X-1		仕上げ塗料塗り ・シルバー ・カラー
⊙X-2	消火水槽	
・Y-1	地下外壁防水	Y-2工法の保護シート
・Y-2		※適用する　・適用しない

脱気装置
・設ける　材質(　　)　設置数量(　　m² 当たり1箇所)

⑤シーリング　下表以外は、標仕表9.6.1による　(9.6.2)(表9.6.1)

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
特記以外　全て	ポリサルファイド系(PS-2)
外壁サイディング回り	メーカー指定品(ニチハ:プラチナシール　15年保証品)
ガラス回り	シリコン系(SR-1)

10. 石工事

1 天然石張り

石の種類・表面仕上げ （10.2.1）（表10.2.1~2）

施工箇所	種　類	産地・名称	厚さ（mm）	仕上げの種類

2 テラゾ張り

種石の種類　※大理石　・ （10.2.1）（表10.2.2）
表面仕上げ　※本磨き　・
形状・寸法　※図示

3 壁の石張り工法

外壁石張り （10.3.2~3）（10.5.2~3）
工法
・外壁湿式工法（※流し筋工法　・　）
・乾式工法
石裏面処理　・行う（・小口共）
裏打ち処理　・行う
ドレインパイプ　※ステンレスSUS304　・

内壁石張り （10.4.2~3）（10.5.2~3）
工法
・内壁空積工法（※あと施工アンカー横筋流し工法　・あと施工アンカー工法）
・乾式工法
裏打ち処理　・行う

4 床及び階段の石張り

床石張りの裏面処理　・行う （10.6.2）
屋内のワックス掛け　・行う （10.1.5）

11. タイル工事

①陶磁器質タイル

タイルの種類 （11.2.1）

施工箇所	形状寸法（mm）	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	再生材の適用Ⓖ	備考
ポーチ・犬走り	300角	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする
タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　）

②張り付け用材料

既成調合モルタル

保水率（%）	単位容積質量（kg/l）	接着強さ（N/mm²） 標準時	接着強さ（N/mm²） 温冷繰返し後	長さ変化率（%）	曲げ強さ（N/mm²）
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

接着剤のホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・第三種 （11.2.3）

3 壁タイル張りの工法

内装タイル　※壁タイル接着剤張り　・積上げ張り （11.3.3）（表11.3.2）

外装タイル　※密着張り　・マスク張り
躯体表面の処理　・行わない　※行う（施工範囲　※図示　・　）
躯体表面の処理方法　MCR工法又は目荒し工法（6章コンクリート工事）
下地モルタル塗り　※標仕15.2.2~15.2.5
タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外壁タイル　・　） （11.2.1）

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法

（11.2.2）（11.4.2）（表11.4.1）

種　別	適用タイル	タイル型枠先付け面のせき板
※タイルシート法	・小口タイル	※標仕6.9.3［材料］（b）（2）又は金属製タイル先付け用パネル
・目地樹工法	・二丁掛タイル	・
・枠木法	大型タイル	

12. 木工事　（構造図による。）

①木材の品質

※標仕12.2.1　・市販品 （12.2.1）
・保存処理木材を適用する箇所（　）

②樹種

※標仕表12.2.3による （12.2.1）（表12.2.3）
・代用樹種を適用しない箇所（　）

③集成材等 Ⓖ （12.2.2）

品　名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	・たも　・なら　・しおじ	
⊙構造用集成材	・1種　※2種　・3種	⊙カラマツ　⊙スギ　⊙ヒノキ	
⊙造作用集成材	※1等　・2等	⊙カラマツ　⊙スギ　⊙ヒノキ	
・化粧ばり造作用集成材	※1等　・2等	・	・

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

④接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 （12.2.6）
ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という。）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

⑤防腐・防蟻処理

行う箇所（　）
防腐処理　※行う（※図示　・　） （12.2.8）
防蟻処理　⊙行う（※図示　⊙GL＋1000以下の隠ぺい部分　） （12.2.9）
防腐、防蟻処理の種類、品質
表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。

⑥床板張り

フローリング及び縁甲板張り床 （12.7.1）（表12.7.1）

下張り用床板	※無し		
	⊙有り	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種
		・板張り	
床板	※単層フローリング（標仕19.5.2による）		ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外　・第三種
	・縁甲板		※ひのき　・

13. 屋根及びとい工事　（三者連名、10年間保証付とする）

①長尺金属板葺

（13.2.2~3）（表13.2.1）

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚（mm）
⊙瓦棒葺き	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR－20－AZ150） ⊙フッ素樹脂鋼板	※0.4 ・

2 折板葺

（13.3.2~3）（表13.2.1）

形　式	※重ね形　・はぜ締め形　・かん合形
形状（mm）	山高（　）　山ピッチ（　）　板厚※0.6　・0.8
材　料（規格等）	※塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯（CGLCCR－20－AZ150） ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別：　厚さ：　mm）　・無し
耐火性能	※30分耐火　・無し

③とい

材　種　※配管用鋼管　⊙硬質塩化ビニル管 （13.5.2）（表13.5.1）
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP－VU）Ⓖ

鋼管製といの防露　※標仕表13.5.5による （13.5.3）（表13.5.5）
防露材のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種
掃除口　※有り　・無し

14. 金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ

（14.2.1）

種　類	施工箇所
※HL程度	下記以外の見え掛かり全て
・No.2B程度	
・鏡面仕上げ	
・	

②アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

（14.2.2）（表14.2.1）

種　別	施工箇所
⊙B－1種（無着色）	
⊙B－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）	
・	

③鉄の亜鉛めっき

（14.2.3）（表14.2.2）

表面処理方法	種　別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	⊙A種	屋外階段
	・B種	
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

④金属成形板張り

（14.6.2）（表14.2.1）

形　状	製　法	材　種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理
・スパンドレル形	・押出し ・ロール	※アルミニウム製 ・			・B－1種 ・B－2種（　） ・
・パネル形	※プレス ・				

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）

⑤アルミニウム製笠木

（14.7.2）（表14.2.1）（表14.7.1）

種　類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備　考
⊙250形	1.6以上	※A－1又はB－1種 ・B－2種（　）	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形	1.8以上			
⊙350形	2.0以上			
・100形				
・				

⑥手すり及びタラップ

（14.2.1）（14.8.2~3）（表14.2.2）

種　類	材料の種別	表面処理
手すり	※ステンレスSUS304	※HL程度　・鏡面程度　・
	⊙鉄	亜鉛めっき　外部　※C種　・ 内部　※E種　・
タラップ	⊗ステンレスSUS304	※研磨無し　・
	・鉄	亜鉛めっき　内外部　※C種

15. 左官工事

1 モルタル塗り材料

吸水調整材 （15.2.2）

全固形分（%）	吸水量（g）	接着強度（N/mm²）	界面破断率（%）
表示値±1.0	30分で1g以下	0.98以上	50以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

防水剤（防水モルタル塗りの混入剤） （15.2.2）
防水剤の種類　建築用のモルタルに用いるセメント防水剤

混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 始発　1時間以上 終結　10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下

膨張性のひび割れ及びそりがないこと。

②床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による （表6.2.4）（15.3.1~2）

施工箇所	平たんさ（mm）	備　考
フリーアクセスフロア（パネル構法）範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
フリーアクセスフロア（溝構法）範囲	3mにつき7以下	

3 仕上塗材仕上げ

（15.5.2）（表15.5.1）

種　類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材S1	・
	・可とう形外装薄塗材S1	・
	・外装薄塗材E	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材E	砂壁状じゅらく
	・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状　・ゆず肌状　・さざ波状
	・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状　・さざ波形　・凹凸状
	・外装薄塗材S	砂壁状
	・内装薄塗材C	・
	・内装薄塗材L	・
	・内装薄塗材S1	・
	・内装薄塗材W	京壁状じゅらく
・複層仕上塗材	・複層塗材CE	・ゆず肌状　・凸部処理　※凹凸模様
	・可とう形複層塗材CE	耐候性　※3種　・
	・複層塗材S1	上塗材
	・複層塗材E	溶媒　※水系　・溶剤系
	※複層塗材RE	樹脂　※アクリル系 ・
	・複層塗材RS	
	・防水形複層塗材CE	外観　※つやあり　・つやなし
	・防水形複層塗材E	・メタリック
	・防水形複層塗材RE	
	・防水形複層塗材RS	防水形の増塗材　※行う
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材	砂壁状
	・こて塗用軽量塗材	平たん状

建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・第三種
防火材料の指定
※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。

16. 建具工事

①見本の製作等

・特殊な建具の仮組（建具符号：　） （16.1.4）

②アルミニウム製建具

外部に面する建具 （16.2.2）（16.2.4）（表16.2.1）

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み（mm）	施工箇所
⊙A種	S－4	※A－3	※W－4	⊗70	※図示　・
・B種	S－5	・	・	⊙100	※図示　・
・C種	S－6	A－4	W－5	100	※図示　・

表面処理　※B－1種　・B－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー） （表14.2.1）

屋内建具
表面処理　※C－1種又はB－1種 （表14.2.1）
・C－2種又はB－2種（・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）

③網戸

防虫網 （16.2.3）
網の種別　※ガラス繊維入り合成樹脂製　・合成樹脂製　・ステンレス製（SUS316）
形　式　※外部可動式　・固定式

④鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による （16.3.2）（表16.3.1）
耐風圧性の適用は建具表による
特定防火設備の戸　⊙適用あり

⑤鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による （16.4.2）

6 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による
耐風圧性の適用は建具表による
表面仕上げ　※HL程度　・鏡面仕上げ　・ （16.5.4）
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ（補強あり） （16.5.5）
特定防火設備の戸　・適用あり （表16.5.1）

⑦自動ドア開閉装置

（16.8.2~3）（表16.8.1~3）

開閉方法	センサの種類	
※スライディングドア	・マットスイッチ	・電子マットスイッチ
・スイングドア	※光線スイッチ	・音波スイッチ
	・熱線スイッチ	・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

⑧自閉式上吊り引戸装置

品質規格　※標仕表16.9.1による　（16.9.2~3）
・製造所標準仕様による

⑨木製建具

かまち戸の樹種　かまち（　　）　鏡板（　　）　（16.6.2）

ふすまの上張り　（表16.6.3）
※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く）　・鳥の子

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量　（16.6.2）
※規制対象外　・第三種

⑩建具用金物

マスターキー　※製作する　・製作しない　（16.7.4）

建具用金物　（16.3.6）（16.4.6）
錠類はシリンダー箱錠（レバーハンドル）とする
なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける　（16.7.2）

吊金物
・丁番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）
・ピボットヒンジ

⑪ガラス

※建具表による　（16.13.2）
・ガラスブロック　標仕16.13.5による　（16.13.5）

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	防火性能
・正方形 ・長方形	・	・	※クリア	※無し ・有り

⑫ガラス留め材及び溝

ガラス留め材　（16.13.2）（表9.6.1）

建具の種類	材　種
アルミニウム製	※シーリング材　・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。

板ガラスをはめ込む溝の大きさ　（16.13.3）
標仕16.13.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会JASS 17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する

13 ガラス用フィルム

名　称	種　類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り　・外張り	飛散防止率　D1
・			

品質　JIS A 5759による

14 重量シャッター　（16.10.2）

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（　　）N/m²
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（　　）N/m²
・屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　（16.10.2）（表16.10.1）

危害防止機構
※障害物感知装置（自動閉鎖型）
・シャッターの二段降下方式

一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　（16.10.2）

15 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　（16.11.2）（表16.11.1）

スラット　材質　※塗装溶融亜鉛めっき鋼板　・鋼板　（16.11.3）
形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形　（16.11.4）

ガイドレール等　※鋼板製　・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）　（表16.11.2）

耐風圧性能　（　　）N/m²

16 オーバーヘッドドア　（16.12.2~3）

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・溶融亜鉛めっき鋼板 ※ステンレス鋼板 （SUS304）

耐風圧性能　（　　）N/m²

17. カーテンウォール工事

1 メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。

カーテンウォール材料の種類　（17.2.2）

種　類	規格等
※アルミニウム製	※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による
・	・

カーテンウォール方式
・方立方式
・バックマリオン方式　（・単純2辺支持構法　・SSG構法）
・スパンドレル方式
・パネル方式
・小型パネル組み合わせ方式　（・ノックダウン方式　・ユニット方式）

シーリング材及びガラス取付け材料
下記以外は標仕表9.6.1による　（9.6.2）（17.2.2）（表9.6.1）

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記　号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット　※適用しない　（17.2.2）
・適用する（施工箇所：図示　　）

断熱材　※適用しない　（17.2.2）
・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工個所※図示　）

製品の寸法許容差　※標仕表17.2.1による　（17.2.3）（表17.2.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による

アルミニウムの表面処理　（17.2.3）（表14.2.1）

種　別		色彩等
・A－1種	・B－1種	無着色
・A－2種	・B－2種	※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー　・
・着色塗膜	塗装材料（　　）焼付け方法（　　）コート（　　）ベーク	

耐風圧性能　（17.1.3）
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²　以上及び負圧　N/m²　以上に対して安全であること。

主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状　態
※4m以下	※±（1/150）×h かつ絶対量20mm以下	※各部の破損、残留変形 有害な変形が起こらないこと
・4mを超える	・	

耐震性能　（17.1.3）
設計用震度　水平方向（Kн）　※1.0　・
垂直方向（Kv）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

水密性　・W－4　・W－5　・　（17.1.3）
気密性　・A－3　・A－4　・　（17.1.3）
耐火性能　※適用しない　・適用する（　時間、施工箇所：図示）
映像調整　※行わない　・行う（建具表による）
製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

2 PCカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。

コンクリートの種類及び品質　（17.3.2）
※標仕17.3.2による
・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）

鉄筋　※SD295A　・

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質　（14.2.3）（表14.2.2）

金物種類及び部位	内　部	外　部
PC版打込み金物	※E種　・	※A種　・
PC版打込み取付けボルト	※E種　・	※ステンレスボルト
2次ファスナー	※E種　・	※A種　・
取付けボルト	※E種　・	※A種　・
レベル調整ボルト	※E種　・	※A種　・
	・	・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料
下記以外は標仕表9.6.1による　（9.6.2）（17.3.2）（表9.6.1）

施工箇所	シーリング材の種別		
	記　号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材　※適用しない
・適用する　（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所　※図示）

製品の寸法許容差　※標仕表17.3.1による　（17.3.3）（表17.3.1）
・製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ　（　　）

耐火材料

施工部位	種　別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能　（17.1.3）
性能値　※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。
・正圧　N/m²　以上及び負圧　N/m²　以上に対して安全であること。

耐震性能　（17.1.3）
設計用震度　水平方向（Kн）　※1.0　・
垂直方向（Kv）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上 ・	※部材が損傷せず、破損脱落もしない。 ガラス等の破損もない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上 ・	

18. 塗装工事

①材料

屋内の壁、天井仕上げ材は防火材料とする　（18.1.3）
建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種

②素地ごしらえ

亜鉛めっき面の素地ごしらえの種別　（18.2.4）（表18.2.3）（表18.3.4）

種　別	施工部位及び塗料種別
A種	鋼製の建具及び、2液形ポリウレタンエナメル塗り、常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗りの場合
B種	A種、C種以外
C種	下塗りに変成エポキシ樹脂塗料を塗装する場合

せっこうボード及びその他のボード面の素地ごしらえの種別　（18.2.7）（表18.2.7）
種別　※B種　・A種（施工箇所：　　）

③床用塗料塗り

材　質　ウレタン樹脂系塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ
塗布量　プライマー塗りのうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5kg/m²　以上とする

④防塵用塗料塗り

材　質　水性アクリル系樹脂塗料（※標準色　・　　）
仕上種別　コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗布量　主剤2回塗とし、総塗布量は0.25kg/m²　以上とする。

19. 内装工事

①接着剤　（19.2.2）（19.3.3）
壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
※接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

②ビニル床シート張り　（19.2.2）

種　類	JISの記号	色　柄	厚さ（mm）
※発泡層のないもの	※NC　・	※無地　・マーブル柄	㊗2.5　⊙2.0
・発泡層のあるもの		※柄物　・無地	
・			
・			

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所：　　）　（19.2.3）

3 ビニル床タイル張り　（19.2.2）

種　類	JISの記号	厚さ（mm）	備　考
※コンポジションビニル床タイル（半硬質）	CT	※2	
・コンポジションビニル床タイル（軟質）	CTS	・	
・ホモジニアスビニル床タイル	HT	・	

④帯電防止床タイル張り　（19.2.2）

種　類	厚さ（mm）	性　能
・コンポジションビニル床タイル	※2　・	体積抵抗値（JIS K 6911による） 1.0×10^{9} Ω以下、または、 漏えい抵抗値（JIS A 1454による） 1.0×10^{10} Ω未満
・ホモジニアスビニル床タイル	※4.0又は4.5	
・	・	
・	・	

⑤ビニル幅木

高さ（mm）　※60　・75　⊙100　（19.2.2）

⑥カーペット敷き

・織じゅうたん　（19.3.3~4）（表19.3.1~2）

種　別	パイル形状	色柄等	備　考
・A種 ・B種 ・C種	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループパイル併用	※無地 ・柄物（標準品） ・	

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

・タフテッドカーペット　（19.3.3~4）（表19.3.2）

パイル形状	パイル長（mm）	工　法	備　考
・カットパイル	※5~7　・	※全面接着工法 ・グリッパー工法	
・ループパイル	※4~6　・		
・レベルループパイル	※4　・		
・カット、ループ併用	・		

耐電性　※人体帯電圧3kV以下　・

⊙タイルカーペット　（19.3.3）（表19.3.2）

パイル形状	種　類	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備　考
※ループパイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル				
・カット、ループ併用				

耐電性　・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）
・

7 合成樹脂塗床　（19.4.2~3）（表19.4.1~7）

種　別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	※薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ（※平滑　・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑　・防滑） ・防滑仕上げ

ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量　（19.4.2）
※規制対象外　・第三種

⑧フローリング張り

（19.5.2~7）（表19.5.1~4）

種　別	樹　種	工　法	仕上げ塗装等	備　考
※天然木化粧複合フローリング ・	㊙なら（既製品）※釘どめ工法（C種） ⊙すぎ（大月市産）		※塗装品 ・無塗装品	土足対応
	・	・	・	
	・	・	・	

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　（19.5.2）

9 畳敷き

（19.6.2）（表19.6.1）

下地の種類	畳の種別
標仕表12.5.1による床組	※B種　・
ポリスチレンフォーム床下地	※C種　・

畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする

10 ポリスチレンフォーム床下地材

畳下地　厚さ（mm）　※40　・65　・80

フローリング類　厚さ（mm）　※80　・95

11 せっこうボード その他のボード張り

（19.7.2）（表19.7.1）

種　類	JISの記号	厚さ（mm）、規格等
⊙硬質木毛セメント板	HW　Ⓖ	・15　・20　・25　⊙40
・普通木毛セメント板	NW　Ⓖ	・15　・20　・25　・
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2（無石綿）（⊙6　⊙8　⊙10）
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	㊙フラットタイプ（※9（不燃）・12　・　） ⊙凹凸タイプ（※12（不燃）⊙15　・19　⊙27）
・ロックウール化粧吸音板（軒天井用）	DR DR（凹凸） DR（軒天） DR（軒天凹凸）	※フラットタイプ　9（不燃） ・凹凸タイプ（※12　・15）（不燃）
⊙せっこうボード	GB-R	※12.5（不燃）　・9.5（準不燃）
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5（不燃）　化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）
・シージングせっこうボード	GB-S	12.5（不燃）
⊙強化せっこうボード	GB-F	12.5（不燃）　15.0（不燃）
⊙硬質せっこうラスボード	GB-R-H	㊙12.5（不燃）　⊙9.5（不燃）
・化粧せっこうボード（木目）	GB-D	12.5（不燃）幅440mm程度 模様（※柾目　・板目）　専用下地材付き
・難燃合板	Ⓖ	・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による　厚さ1.2
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF　Ⓖ	・3　・7　・9　・12　・
・単板張りパーティクルボード	Ⓖ	・無研磨板　・研磨板 ・10　・12　・15　・18　・
・ハードボード（素地）	HB　Ⓖ	・無研磨板（・スタンダード　・テンパード） ・研磨板（・スタンダード　・テンパード）
・インシュレーションボード	IB　Ⓖ	A級（・天井仕上　・内装仕上　・　） ・9　・12　・15　・18　・

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※規制対象外　・第三種
軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材
※適用する　・適用しない

12 吸音材

（表19.7.1）

種　類	JISの記号	厚さ（mm）
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25　・
※グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25　・

13 壁紙張り

（19.8.2）

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維（織物）	プラ（ビニル）	その他（化学繊維）	無機質	防火性能	備　考
廊下・教室	⊙	⊙	⊙	・	⊙	⊙不燃⊙準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ　（表18.2.4）（表18.2.7）
モルタル、プラスター面　※B種　・A種（施工箇所：　）
せっこうボード面　※B種　・A種（施工箇所：　）
壁紙のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種　（19.8.2）

14 断熱材

（19.9.2~3）

種　類		施工箇所	厚さ（mm）	品質等
・押出法ポリスチレンフォーム保温板	※2種b	※一般部	※25 ・	特定フロンを使用しないもの
	※3種b（スキン層付）	・接地部分 ・	※25 ・	
⊙現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	——	特定フロンを使用しないもの 難燃性※3級　・2級
		・一般部 ・	※15 ⊙20	
		製造所　性能の確認できる資料を監督職員に提出する		
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲） ・	※40以下 ・	断熱抵抗 ＝厚さ／熱伝導率 ＝0.676以上 （m^2・k/w）
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

15 浴室天井材

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

市販品

材　質	表面仕上げ	性　能	幅（mm）	備　考
※アルミニウム製	※焼付け塗装品 ・アルマイト処理品	準不燃品	※200 ・100	回り縁は縁付きとし、製造所の標準品とする。
・硬質塩ビ製	※塗装品 ・木目調		※300 ・100	

20. ユニット及びその他の工事

①フリーアクセスフロア

（20.2.2）

施工箇所	構　法	仕上り高（mm）	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材	備　考
学生自習室	⊙パネル構法 ・溝構法	100	⊙1.0G ・0.6G	⊙3,000N ・5,000N	⊙帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
図書ｻｰﾋﾞｽｶｳﾝﾀｰ	⊙パネル構法 ・溝構法	100	⊙1.0G ・0.6G	⊙3,000N ・5,000N	⊙帯電防止床タイル ・タイルカーペット	
	・パネル構法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による
スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示
コンセント等の取付け対応　※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示
配線用取り出しパネル　配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合
※20~30%　・
空調用吹き出しパネル　※無し
・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

2 可動間仕切

（20.2.3）

構造形式	パネル部の総厚さ（mm）	表面材種 厚さ（mm）	表面仕上げ	遮音性能	防火性能
・スタッド式 ・スタッドパネル式 ・パネル式	・	※鋼板 （※0.6　・0.8） ・	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂焼付け ・	・あり （　） ・なし	・あり ・なし

3 移動間仕切

（20.2.4）

遮音性能	厚さ（mm）	表面材	表面仕上げ	操作方法
・一般タイプ		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音タイプ（36db以上）		※鋼板 ・	・焼付け塗装 ・壁紙張り	・手動式　・電動式 ・部分電動式

表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による
遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

④トイレブース

表面仕上げ材　（20.2.5）
※メラミン樹脂系化粧板（標準色　アルミ製コーナーエッジ付き）
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状　※幅木型　・足金物型

⑤階段滑止め

材　種　ステンレスSUS304　（20.2.6）
形　状　ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド　※有り（・ステンレス製　※ビニル製）　・無し
幅（mm）　約35
取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

⑥階段手すり

詳細図参照 種　別	施工箇所
※集成材クリアラッカー仕上げ（市販品　径　約32mm）,大月産スギ、ヒノキ	屋内階段A、B、C
・ビニル製ハンドレール（幅　約50mm）	

⑦黒板及びホワイトボード

詳細図参照　（20.2.8）

種　類		寸法（mm）	色　彩	備　考
⊙黒板	※焼付け		※緑　・黒	※平面　・曲面　・スクリーン付引分
			※緑　・黒	
⊙ホワイトボード	※ほうろう		※白	※平面　・曲面　・スクリーン付引分

⑧鏡

寸法（mm）　⊙図示　・　（20.2.9）
厚さ（mm）　※5　・

⑨表示標識

衝突防止表示　（20.2.10）
※図示（市販品　※ステンレス製　径約30mm　・　）
（⊙両面　・片面）
・無し
表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

10 煙突用成形ライニング

・煙突用成形ライニング材　（20.2.11）
最高使用温度　※650℃　・400℃
・キャスタブル耐火材
工　法　※こて押さえ
最高使用温度　※400℃

11 ブラインド

（20.2.12）

形　式	種　類	スラットの材質	スラットの幅（mm）
※横型	※ギヤ式　・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 ・	※25
・縦型	・1本操作コード ・2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100

12 ロールスクリーン

防炎性能　※有り　（20.2.13）

施工箇所	装置 電動	手引	備　考
廊下、学生ラウンジ	・	・	
	・	・	
	・	・	

13 カーテン

（20.2.14）

施工箇所	形式 片引	引分	装置 電動	ひも引	手引	ひだの種類	性　能	備　考
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

14 カーテンレール

材　種　㊙アルミニウム製　⊙ステンレス製　（20.2.14）
形　式　⊙片引き　⊙引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする）

15 ブラインドボックス及びカーテンボックス

・市販品（アルミニウム製　押出し型材）
溝幅×深さ（mm）　・90×150　※120×80　・120×150　・150×80　・
色彩　※B-1　・B-2（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）
⊙図示

16 耐震スリット

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目　地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	※20×10　・	※20×10　・

17 止水板

形　状　・据置式　・壁張り式　⊙差込式
寸　法
製造所

18 天井点検口

材　質　アルミニウム製（※額縁タイプ　・目地タイプ）

19 床点検口

材　質　アルミニウム製（受け枠　※アルミ製　・ステンレス製）

20 鋼製書架及び物品棚

種　類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品棚	JIS S 1040の規格による	※1種　・2種　・3種

21 かぎ箱

市販品
形　式　・30組用　⊙60組用　・120組用　・

22 くつふきマット

市販品
材　質　・塩化ビニル製（コイル状　ステンレス製受枠）　・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも）　・ステンレス製（受枠とも）

23 流し台ユニット

種　類	寸法（L＝　mm）	適用内容	規格・品質等
⊙流し台	※1200　・1500　・1800	トラップ付き	※優良住宅部品（セクショナルキッチンⅠ型） ・
・コンロ台	※600　・700　・	バックガード　※有り	
・つり戸棚	※1200　・900　・600		
・水切り棚	※1200　・900	ステンレス製　※1段式	※市販品

24 屋内掲示板

枠の材質　※アルミニウム製
表面の材質　※塩ビ発泡シート張り　・

25 洗面カウンター

材　種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　⊙人工大理石
奥行き（mm）　・約450　⊙約600

26 防煙垂れ壁

・固定式

材　質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備　考
※網入り磨板ガラス ・線入り磨板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種　類	材　質	高さ（mm）	備　考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

27 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

ブロックパターンはJIS T9251による　（19.2.2）
色彩は黄色を原則とする
屋　内　※塩化ビニル製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）
・レジンコンクリート製
屋　外　※レジンコンクリート製　・磁器又はせっ器質タイル（※300　・　）

綜合建築設計事務所
一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号
一級建築士 登録 第 110879号 小林 一

承認	設計	担当		縮尺
				設計年月日

工事名称　大月短期大学新校舎建設工事
図面名称　特記仕様書（5）

28 旗竿

材　質　※アルミニウム合金製
形　式　※テーパー型　・同一断面型
地上高さ（m）　・6　・8　・10　・12
操作方法　※ハンドル式　・ロープ式
固定方法　・埋込式　・ベース式　・バンド式
製造所

29 旗竿受金物

材　種　ステンレス製SUS304

30 フェンス

・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス

31 屋外掲示板

照明器具　※有り　・無し
施　錠　※有り　・無し
製造所

32 車止め支柱

※ステンレス製（上下式鎖内蔵型）　径114.3mm　t=2.5mm　H=GL+700mm
※スプリング付　・スプリング無し
・

33 収納家具

材質
形状・寸法　※図示
ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

34 エキスパンション・ジョイント金物

材質　⊙アルミ　⊙ステンレス
クリアランス　・50　⊙100　⊙150　・
耐火性能　⊙有り（右記以外）　⊙無し（RC階段）
防水型　※適用する　・適用しない

35 建築物緑化

屋上緑化システム　Ⓖ
・管理方法による区分　・省管理型
質量の上限値　（　　）kg/m²
かん水装置　・設ける（工事区分は図示）
透水層、保水層及び排水層等
保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能：240ℓ/m²・h以上
耐荷重性能
省管理型：3×10⁴ N/m² 以上の載荷重で異常のないこと。
耐根層の材料
合成樹脂耐根シート（厚さ3mm以上）又は抗根性剤とする（耐根性能の実績を有すること）
植込み用土　製造所の仕様による
植栽の種類　製造所の指定するものとする
・管理方法による区分　・管理型

21. 排水工事

1 排水管

排水管用材料　（21.2.1）（表21.2.1）（21.3.3）

材　種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※1種　・2種）	B形（ゴム接合）
・硬質塩化ビニル管	※VP　・VU	
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管	・REP−VU Ⓖ	

車道部の排水管の敷設　（21.3.1）（21.3.3）
※図示
・砂基礎（地業厚さ20cm以上　材料　山砂の類）

2 排水桝及びふた

鋳鉄製マンホールふた　（21.2.2）

種　類	適用荷重
・水封形　・密閉形（テーパー・パッキン式） ・簡易気密形（パッキン式）　・中ふた付密閉形	・T−2用 ・T−6用 ・T−14用 ・T−20用

グレーチングふた　（21.2.2）

材　質	形　式	種　類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き ・ ボルト固定 ※無し ・図示	・溝ふた用 ・桝ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用	・歩行用 ・T−2用 ・T−6用 ・T−14用 ・T−20用	※細目 ※普通目 ・細目	※凹凸形 ※平形 ・凹凸形

3 埋戻し土

※B種　・　（21.2.3）（表3.2.1）

4 浸透管及び浸透桝

製造所

22. 舗装工事

1 盛り土に用いる材料

・A種　※B種　・C種　・D種　（22.2.3）（表3.2.1）

2 遮断層及び凍上抑制層の材料

・遮断層　※川砂、海砂又良質な山砂　・　（22.2.2~3）
厚さは図示
・凍上抑制層　※再生クラッシャラン　・クラッシャラン　切り込み砂利　・砂
厚さは図示

3 路床安定処理

※添加材料による安定処理　（22.2.2~3）（表22.2.2）
種類　・普通ポルトランドセメント　・フライアッシュセメントB種
・生石灰（　　）　・消石灰（　　）
添加量　kg/m³　（目標CBR　※5以上　・　　）

4 路床土の支持力比試験

※行う（※乱した土　・乱さない土）　（22.2.5）

5 路床締固め度の試験

※行う　（22.2.5）

6 路盤材料 Ⓖ

※再生クラッシャラン（RC−40）　（22.3.3）
・クラッシャラン（C−40）又はクラッシャランスラグ（CS−40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

7 アスファルト舗装

（22.4.2）（表22.4.1）

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し　・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し　・有り	・

カラー舗装の着色骨材　・有色骨材（焼成）　・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト　※再生アスファルト　Ⓖ・ストレートアスファルト　（22.4.3）

加熱アスファルト混合物の種類　（22.4.4）（表22.4.6）

区分	※一般地域	・寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	・粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート　※行わない　・行う（施工範囲：　　）　（22.4.5）
アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　（22.4.6）

8 コンクリート舗装

早強セメント　※使用しない　・使用する　（22.5.3）
注入材料　※低弾性タイプ　・高弾性タイプ　（22.5.3）（表22.5.3）
溶接金網　※有り　・無し　（22.5.3~4）
厚さ試験　※行わない　・行う　（22.5.6）

9 透水性舗装

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　（22.6.6）（22.4.6）

10 排水性舗装

アスファルト混合物　（22.7.3）（表22.7.2）
・改質アスファルトⅠ型　※改質アスファルトⅡ型
タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類　（22.7.3）（表22.7.3）

適用時期	種　類
下記以外	PKR−T1
冬期	PKR−T2

アスファルト混合物の抽出試験　※行わない　・行う　（22.7.6）

11 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装　（22.8.2~3）

種　類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
※普通平板（N）　・カラー平板（C） ・洗出平板（W）　・擬石平板（S）	※300角 ・	※60	※砂 ・モルタル

・インターロッキングブロック舗装　（22.8.2~3）

種　類	厚さ（mm）	色彩及び表面加工等
※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック	車道部　※80　・ 歩道部　※60　・	※標準品 ・ 誘導、注意喚起用は黄色系とする
・植生ブロック	※80　・100	

インターロッキングブロック

項　目		品　質　・　性　能
材料	セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。
	骨材	清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。
	混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。
	着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。
外観		使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。

寸法許容差（mm）	長　さ	幅	厚　さ
普通タイプ	±3	±3	±3
透水性タイプ	±3	±3	+5~−1
植生用タイプ	±3	±3	±3

曲げ強度（N/mm²）	普通タイプ	5.0以上
	透水性タイプ	3.0以上
	植生用タイプ	4.0以上
透水係数（cm/sec）	透水性タイプ	1×10⁻²以上
圧縮強度（N/mm²）	普通タイプ	32.0以上
	透水性タイプ	17.0以上

・舗石舗装　（22.8.2~3）

種　類	厚さ（mm）	施工方法	基　層
※小舗石（花こう岩） ・	※80~100　・ ・	※うろこ張り ・	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装

12 路面標示用塗料

JIS K 5665（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅（mm）	布厚さ（mm）	揮発性有機溶剤の含有率
・1種 Ⓖ	常温	液状	※白 ・	※150 ・	※1.0 ・	塗料総質量に対して5%以下
・1種 Ⓖ	加熱					
・3種1号	溶融	粉体状				

23. 植栽工事

1 樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類　（23.2.2~3）（表23.2.1~2）

適　用	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
※行う　・行わない	※20　・	※B種　・	※植栽範囲　・図示

樹木　（23.2.2~3）（表23.2.1~2）

樹木の樹高（m）	有効土層の厚さ（cm）	工　法	整備範囲
・12以上	※100　・	※A種	・葉張りの範囲 ただし、低木は植栽範囲 ・図示
・7超~12未満	※80　・	・B種	
・3超~7以下	※60　・	・C種	
・3以下	※50　・	・D種	

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

2 植込み用土

※現場発生土の良質土　・客土（※畑土　・黒土）　（23.2.3）

3 土壌改良材 Ⓖ

※適用する　（23.2.3~4）
施工箇所　※植栽範囲　・図示

バークたい肥

有機物の含有量（乾物）	：70%以上
炭素窒素比（C/N比）	：35以下
陽イオン交換容量（乾物）	：70meq/100g以上
pH	：5.5~7.5
水分	：55~65%
幼植物試験の結果	：生育阻害その他の異常を認めない
窒素全量（現物）	：0.5%以上
りん酸全量（現物）	：0.2%以下
加里全量（現物）	：0.1%以上

発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする

ひ素	：0.005%以下
カドミウム	：0.0005%以下
水銀	：0.0002%以下
ニッケル	：0.03%以下
クロム	：0.05%以下
鉛	：0.01%以下
有機物の含有量（乾物）	：35%以上
炭素窒素比（C/N比）	：20以下
pH	：8.5以下
水分	：50%以下
窒素全量（現物）	：0.8%以上
りん酸全量（現物）	：1.0%以上
アルカリ分（現物）	：15%以下

4 支柱材

※杉の焼丸太（間伐材）　Ⓖ　・真竹　（23.3.2）

5 幹巻き用材料

※幹巻き用テープ　・わら及びこも　（23.3.2）

6 芝張り

種類　・こうらい芝　・野芝　（23.4.2）

24. その他

一 般 概 要

建築主・住所氏名	〒401−8601　山梨県大月市大月2丁目6−20　大月市長　石井由己雄　殿　　TEL 0554−22−2111
工 事 名 称	大月短期大学新校舎建設事業
建 築 地	（代表地番）山梨県大月市御太刀1−16−2
	山梨県大月市御太刀一丁目字宮原1030−1、1034、1035、1036、1037、1042、1043、1044、1045、1046、
	1047、1048、1049、1050−1、1050−2、1051−2、1051−3、1052−1、1053−1、1053−2、
	1053−3、1054、1055、1056、1057、1058−2、1076−2、1077、1078、1079、1080、1081、
	1082−1、1082−2、1082−3、大月市御太刀一丁目飛地1712−1、1713、1714−2、1717−2、1718、1719、
	1720−1、1720−2、1723−1、1723−2、1724、1725（計47筆）、水×2筆、道×1筆
工 事 種 別	増築
建 築 用 途	短期大学　（区分　08110　）　消防法の防火対象物　（7）
構 造 規 模	大断面木造2階建（1時間準耐火建築物）：2446．12㎡ 、一部鉄骨造2階建（耐火建築物）：37．84㎡
	既存C号館（RC4階建）とは、県条例運用基準（17）別棟の取り扱いの第2の閉鎖型渡り廊下にて接続する。
用 途 地 域	都市計画区域内、第1種住居区域（200／60）、防火指定なし
敷 地 面 積	16，163．53 m^2
道 路 幅 員 等	南側：（道路名）市道山の手線　（認定番号）32009号　（幅員）5．80m
	北側：（道路名）市道短大通り線＋御太刀3号線　（認定番号）33121号、33125号　（幅員）4．00m、1．70m
	東側：（道路名）市道短大通り東線　（認定番号）3117号　（幅員）4．00m
	西側：（道路名）市道御太刀山の手線　（認定番号）33119号　（幅員）4．00m　※共に、法第42条第1項道路
敷地と接している部分の長さ	127.84 m
設計GLの高さ	標高　　m（既存C号館エレベータホール床面から300下がりを設計GLとする）
その他の地域指定	急傾斜地の崩壊の土砂災害警戒区域（※敷地南側は特別警戒区域）

建基法に依る面積表	構造規模	最高の高さ	最高の軒の高さ	床の高さ	階高	居室の天井高	建築面積	延床面積	1階床面積	2階床面積	3階床面積	4階床面積	地下1階床面積
1．新校舎(申請建物)	木造2階建 一部S造2階建	11228	8896	300	3500、3500	2700 3050	1363.698	2483.958	1224.873	1259.085	――	――	――
2．C号館	RC造4階建 一部S造4階建						501.94	1738.34	438.08	434.09	434.09	434.09	――
3．S号棟	RC造3階建						445.84	938.25	321.75	308.25	308.25	――	――
4．渡り廊下	S造平屋建						16.92	16.92	16.92	――	――	――	――
5．岩殿ホール	RC造2階建						295.76	495.64	247.82	247.82	――	――	――
6．屋内運動場	S造2階建						1096.15	1205.99	996.00	146.49	――	――	63.50
7．部室棟	RC造2階建						329.40	621.00	291.60	329.40	――	――	――
8．倉庫1	S造平屋建						25.92	25.92	25.92	――	――	――	――
9．ポンプ室	CB造平屋建						4.80	4.80	4.80	――	――	――	――
10．倉庫2	CB造平屋建						12.00	12.00	12.00	――	――	――	――
11．PCB保管庫	S造平屋建						9.00	9.00	9.00	――	――	――	――
12．ゴミ置場1	S造平屋建						4.75	4.75	4.75	――	――	――	――
13．ゴミ置場2	S造平屋建						4.75	4.75	4.75	――	――	――	――
14．倉庫2	S造平屋建						32.40	32.40	32.40	――	――	――	――
（駐車場、備蓄倉庫等）													
合　計							4143.33	7593.72	3630.66	2725.14	742.34	434.09	63.50

建蔽率（法定）＝　70％、（設計）＝ 25．63％　：容積率（法定）＝ 200％、（設計）＝ 46．98％

※3（岩殿ホール）、4（渡廊下）、5（S号館）は、新校舎完成引越後に解体する予定。

外 部 仕 上 表

外 巾 木	コンクリート打放し補修の上 浸透性保護防水剤塗　H＝GL＋500 ※フッコー：ナノシリコンコート同等品
外 壁	（一般部分）透湿防水シート＋通気層ｔ＝15＋窯業系サイディングｔ＝16張（1時間準耐火認定品）：外壁通気工法
	※ニチハ株式会社：モエンエクセラード16Fｕｇｅ スライウッドⅡ　ｔ＝16ｍｍ　同等品（1時間準耐火　QF060BE−9225）仕上（メーカー標準施工基準による）
	プラチナコート＋プラチナシール（Wプラチナ）、マイクロガード、通気層：木製45×15@455、通気役物（ﾌｧｲﾔｽﾄｯﾌﾟ）@3000以内、留付金具EX、鋼板製ﾊｯﾄﾞｼｪｲﾌﾟ他ニチハ専用役物
	（渡廊下部分）ALCｔ100パネル下地　アクリル系弾性吹付けタイル
	（露出する木材部分）JASの保存処理の内、K3以上の規格に適合する加圧式保存処理を行った木材又は同等の処理を行う（露出母屋はキシラデコール塗）
	又、接合金物は溶融亜鉛メッキによる防錆処理とする。
屋 根	LVLボックスビーム＋転がし母屋@750下地 山梨県産認定品木毛セメント板ｔ＝40ｍｍ＋アスファルトルーフィング940 ＋フッ素GL鋼板ｔ＝0．4湾曲瓦棒葺き
	（一部：垂木45×75@455下地）　※元旦SR−2型　丸桟　W455（裏張ポリフォーム）同等品。　※屋根耐火30分：FP030RF−9258、準不燃材料：QM−9701
	※換気棟工法、軒天上部分に換気口（防虫網付）：有効面積合計は天井面積全体の1／250以上。※雪止め金物：L−50×50×4（溶融亜鉛メッキ）。
渡廊下　屋上	デッキコンクリート金ゴテ（1／50）の上　加硫ゴム系シート防水ｔ＝1．2ｍｍ＋防火コート（飛火試験認定品）
	立上り：コンクリート打放し補修の上　入隅成形キャント材＋ウレタン塗膜防水（X−2）＋トップコート（飛火試験認定品）＋アルミ押え金物
笠木・破風等	（ケラバ・破風）珪酸カルシウム板ｔ＝10＋10　W＝450　重ね張EP塗
	（渡り廊下笠木）アルミ笠木（カラー）既製品　W＝320
樋、ドレン	（軒樋）硬質塩ビ既製品　前高165型　正面打ち吊金具@300　落し口：ステンレスアミ付（三角錐型）
	（縦樋）カラーVP管φ100、φ75型、地上部差込式、支持金物@2000内外、地中部分はVP管φ100
	（ドレン）鋳鉄製　横引き75型、　（オーバーフロー管）渡り廊下屋上：ステンレスφ50ｍｍ
軒 天 井	（一般部分）LGS（25型）下地 繊維混入ケイ酸カルシウム板　ｔ＝8＋8ｍｍ　目スカシ張　EP＋塩ビ廻縁　※国交省告示253号　第5　一の口に定める軒裏の構造方法による。
	（渡廊下部分）LGS（25型）下地 ケイ酸カルシウム板　ｔ＝6ｍｍ　目スカシ張　EP＋塩ビ廻縁
	（RC階段部分）コンクリート打放し補修の上　アクリル系リシン吹付
ポ ー チ	（床面）土間コンクリートの上モルタル下地磁器質300角フロアタイル貼＋端部はPCブロック100×100、排水管VUφ300を埋め込み。
	（消火栓ポンプ室前）土間コンクリート金ゴテ押え
EXP．J	アルミ既製品　クリアランス150ｍｍ用（1時間耐火）：屋上立上り笠木、外壁と外壁、外壁コーナー、天井と天井、内壁と内壁、床と床
	（耐火帯　厚み12．5ｍｍ　耐火1時間　適合証：EAJ−防災−4041）
	※本体とRC階段とはクリアランス100ｍｍ用
建 具	アルミ見込70ｍｍ（カラー）、アルミ＋木複合（カラー）、スチールドア、特定防火設備（常時閉鎖式、煙感知器連動常時開放式）
	硝子：複層ガラス、耐火ガラス
屋 外 階 段	階段1：（階段、柱、手すり部分）鉄筋コンクリート造
	階段2：（階段、柱、手すり部分）鉄骨造　溶融亜鉛メッキ仕上
金 物 工 事	校章：SUS箱文字（金メッキ又は指定色焼付）、館名文字：SUS箱文字（金メッキ又は指定色焼付）、定礎板：ステンレス製（エッチング文字共）400×300
防火被覆（木造）	柱、梁：木造（平成27年告示253号　燃え代＝45ｍｍ　1時間耐火）※天井を建告示1358号、国交省253号の防火被覆をした上部は燃え代不要（露出梁は除く）
	1階床：鉄筋コンクリート造　ｔ＝100以上（平12建告1399号　第3の一のイ）、2階床：（国交省告示253号　第3の二のイの（1）の構造方法）
耐火被覆（鉄骨造） ※渡り廊下	外壁ALCｔ＝100（1時間耐火：告示第1399号）
	柱型：ロックウールｔ＝25ｍｍ吹付（耐火（通）C1211）、1階は耐火塗装仕上　、　梁型：ロックウールｔ＝25ｍｍ吹付（耐火（通）G1211）
	床　：連続支持合成スラブ（FP060FL−9095）
断 熱 材	外気に面する壁内側（軒天裏も含む）：高性能断熱用グラスウール　ｔ＝100ｍｍ（24ｋｇ品）。外壁側：透湿防水シート張、屋内側：防湿気密シート張。
	外気に面する天井裏（庇軒天を除く）：高性能断熱用グラスウール　ｔ＝100ｍｍ敷き（24ｋｇ品）
	土間コン下（ピット下は除く）：ポリエチレンシート　ｔ＝0．15ｍｍの上 スタイロフォーム　ｔ＝25ｍｍ敷込、基礎梁際のみ込みは250ｍｍ以上
地 下 ピ ッ ト	床：コンクリート金ゴテ押エ（水勾配＝1／100）、釜場：600×600×H500、打継部分は塩ビ系止水板CC100×5、躯体防水剤ベストンA使用
	タラップ：ステンレス19φW＝400　@300　（コンクリート1㎥当り20ｋｇ混和）
	（消火水槽床、壁）耐水圧用　塗膜防水、（カルバートとの連結部分）マンホールφ600（鍵付）
雑 工 事	（シーリング）特記以外　変成シリコンシーリング
	（その他）サイン工事一式、電動暗幕工事一式、給湯室等の流し台
	（解体工事）C号館エレベーター棟：1階北面建具撤去処分、2階外壁ALC撤去処分及び開口用補強
建築の外構工事	1．排水工事の一部、2．設備用ボックスカルバート＋設備配管小屋、等は今回の外構工事
	1．舗装工事、2．フェンス工事、3．植栽工事、4．排水工事残、5．中庭工事、他は次年度外構工事
	※建物回りの磁器質300角タイル部分＋先端境界ブロック、犬走り部分、植込み立上り壁は建築工事範囲とする。

綜 合 建 築 設 計 事 務 所
一級建築士事務所 登録(梨)第1−24366号
一級建築士 登録 第 110879号 小林 一

承認	設計	担当		縮尺
				設計年月日 15・06・30

工事名称　大月短期大学新校舎建設工事
図面名称　一般概要・外部仕上表

D−9
No,

内 部 仕 上 表（1）

階	室名（内装制限 排煙設備建設省告示）	床高 / 仕上げ面（スラブ面）	床	巾木（巾木の高さ）	壁	天井	廻り縁	CH（平均天井高）	備考
1階	エントランスホール 情報掲示コーナー	±0	SLモルタル下地	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	掲示板W3600×H1200
		(−25)	土足用WPC天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		腰壁 ：スギ羽目板t=12mm+見切縁米杘30×20CL H=1100	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			ガラス棚：強化ガラスt=12、3800×400、スギLVL CLブラケット固定
		(−19)	※一部：磁器質300角床タイル貼 INAX：スタイルプラス アスティt=9mm同等品		壁 ：ビニルクロス貼 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			CLT壁パネル（壁×2、ベンチ付×6、開口付×2）、消火器BOX
	廊下	±0	SLモルタル下地	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	掲示板W3000×H1200、W1800×H1200
		(−25)	土足用WPC天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		腰壁 ：スギ羽目板t=12mm+見切縁米杘30×20CL H=1100	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			ロールスクリーンは別途
		(−19)	※一部：磁器質300角床タイル貼 INAX：スタイルプラス アスティt=9mm同等品		壁 ：ビニルクロス貼	※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			
	小会議室（1） （学生自治会室）	±0	SLモルタル下地	ソフト巾木（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンは別途）
		(−16)	タイルカーペットt=6.5mm貼		壁 ：ビニルクロス貼	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			掲示版W1800×H900
						※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			
	学生自習室	±0	コンクリート金ゴテ下地フリーアクセスフロアH=100（パネル支柱分離型）	ソフト巾木（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンは別途）
		(−100)	帯電防止ビニル床タイルt=5.0mm		壁 ：ビニルクロス貼	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			消火器BOX
						※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			
	学生談話室	±0	SLモルタル下地	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	掲示板W3600×H1200、カーテンBOX（ステンレスレール+ カーテンは別途）
		(−25)	土足用UV塗装天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		腰壁 ：スギ羽目板t=12mm+見切縁米杘30×20CL H=1100	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			ステンレス床見切W40、
			※山梨県産材使用 プレスウッド PWFF−OTスギ60同等品		壁 ：ビニルクロス貼	※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			
	カウンセリング室	±0	SLモルタル下地	ソフト巾木（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンハ別途）、床下点検口450角、
		(−12)	ビニル床シートt=2mm（耐荷重、耐薬品、抗菌、防カビ、防滑、土足用）		壁 ：ビニルクロス貼	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			ライニング腰壁+甲板：メラミンポストフォームL700、化粧鏡
			※東リ：ホスピリュームNW 同等品			※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンは別途）、流し台W900+水切り 、
	保健指導室 フリースペース	±0	SLモルタル下地	ソフト巾木（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	天井吊カーテンレール（カーテンは別途）、上棚：1100×400×2木製CL
		(−12)	ビニル床シートt=2mm（耐荷重、耐薬品、抗菌、防カビ、防滑、土足用）		壁 ：ビニルクロス貼	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			床下点検口450角、カウンター：ヒノキ集成材CL L2790+1300、
			※東リ：ホスピリュームNW 同等品			※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			ライニング腰壁+甲板：メラミンポストフォームL2100、化粧鏡
	給湯室 （大学祭用簡易厨房） 不【建告1436-4-ハ(2)】：室	±0	SLモルタル下地	ソフト巾木（H=100）	石膏ボードt=12.5+不燃耐水石膏ボードt=12.5の上	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	二槽シンク流し台W1500、吊戸棚W1500、調理台W600、電気レンジ+フードW900、
		(−12)	ビニル床シートt=2mm （耐熱性、抗菌防カビ、防滑性強化、土足用）		壁：化粧ケイ酸カルシウム板 t=6mm貼 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	石膏ボードt=12.5+12.5の上 珪酸カルシウム板t=6 EP塗			一槽シンク流し台W750（ﾃｰﾌﾞﾙﾎﾞｰﾀｰは機械工事）、引出付調理台W1500、作業台W300
			※東リ：NS4400HR 同等品		※エーアンドエーマテリアル：ステンド#400 同等品	※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（2）の防火被覆			床下点検口450角、ステンレス水切L3300+750+ライニング腰壁
	消火栓ポンプ室 不【建告1436-4-ハ(2)】：室	±0	コンクリート金ゴテ下地	ソフト巾木（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	ライニング腰壁+甲板：メラミンポストフォームL750、洗濯パン（機械工事）
		(±0)	アクリル系防塵塗料塗		壁 ：ソフト吹付	石膏ボードt=12.5+12.5の上 EP塗			防湿型床下点検口φ600、消火器（置き式）
			※ABC商会：OAクリアーコート同等品			※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（2）の防火被覆			下部消火水槽：ステンレスタラップ、釜場600×600×600、
	大会議室	±0	SLモルタル下地	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンは別途、
		(−16)	タイルカーペットt=6.0mm（防汚性、抗菌、防炎、重歩行用）		壁 ：ビニルクロス貼	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			UDスライダー黒板W3600×H1200は将来工事（下地補強柱は本工事）
			※東リ：GA−9500 同等品			※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			掲示板W3600×H900
	高校記念室 （小会議室兼用）	±0	SLモルタル下地	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンは 別途）、
		(−16)	タイルカーペットt=6.0mm（防汚性、抗菌、防炎、重歩行用）		腰壁 ：スギ羽目板t=12mm+見切縁米杘30×20CL H=2100	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			ピクチャーレールL5000（写真掛け用）
			※東リ：ソコイタリクラシック GX−7900 同等品		壁 ：ビニルクロス貼（AB程度）	※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			
	小会議室（2） （警備室）	±0	SLモルタル下地	ソフト巾木（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンは別途）
		(−12)	ビニル床シートt=2mm （防滑性、中歩行用）		壁 ：ビニルクロス貼	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			床下点検口450角
						※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			
	多目的WC 不【建告1436-4-ハ(2)】：室	±0	SLモルタル下地	床材立上+アルミ見切（H=300）	石膏ボードt=12.5+不燃耐水石膏ボードt=12.5の上	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	車椅子対応ﾄｲﾚｽﾍﾟｰｽ対応トイレパック：機械工事
		(−12)	ビニル床シートt=2mm （耐汚染性、防汚、抗菌、防滑、消臭、土足用）		壁：化粧ケイ酸カルシウム板 t=6mm貼 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	石膏ボードt=12.5+12.5の上 珪酸カルシウム板t=6 EP塗			（洋便器、手すり（2ヶ所）、手洗い器、洗面器、背もたれ、甲板付）
			※東リ：消臭NSトワレ（CSR=0.50〜0.90）同等品		※エーアンドエーマテリアル：ステンド#400 同等品	※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（2）の防火被覆			化粧鏡（機械工事） 床下点検口450角
	WC（M、L） 不【建告1436-4-ハ(2)】：室	±0	SLモルタル下地	床材立上+アルミ見切（H=300）	石膏ボードt=12.5+不燃耐水石膏ボードt=12.5の上	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	補助手すり（L型、小便器用）、化粧鏡、 床下点検口450角
		(−12)	ビニル床シートt=2mm （耐汚染性、防汚、抗菌、防滑、消臭、土足用）		壁：化粧ケイ酸カルシウム板 t=6mm貼 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	石膏ボードt=12.5+12.5の上 珪酸カルシウム板t=6 EP塗			人造大理石洗面カウンターW2188×2、ライニング腰壁+甲板：メラミンポストフォーム
			※東リ：消臭NSトワレ（CSR=0.50〜0.90）同等品		※エーアンドエーマテリアル：ステンド#400 同等品	※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（2）の防火被覆			L615、738、4388、（W220）L1440、1440
	閉架書庫 不【建告1436-4-ハ(2)】：室	±0	SLモルタル下地	ソフト巾木（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	ハンドル式移動ラック480×7370×6列（既存移設、レール新設は別途）
		(−12)	ビニル床シートt=2mm （防滑性、中歩行用）		壁 ：不燃ビニルクロス貼	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			
						※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			床下点検口450角
	図書室	±0	SLモルタル下地	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンは別途）、
		(−25)	土足用WPC天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		壁 ：ビニルクロス貼	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			消火器BOX
			※サービスカウンター内は学生自習室に同じとする			※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			サービスカウンター+新設書架（床固定+頭つなぎ：耐震仕様）は別途工事
	事務館長室（資料室）	±0	SLモルタル下地	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンは別途）、
		(−25)	土足用WPC天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		壁 ：ビニルクロス貼	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			洗面化粧台W750（機械工事）
						※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			
	学生自習室（大・小） （アクティブラーニング）	±0	コンクリート金ゴテ下地フリーアクセスフロアH=100（パネル支柱分離型）	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 （@360） ※グラスウール24Kt=50mm敷	塩ビ突付	2700	カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンは別途）
		(−100)	帯電防止ビニル床タイルt=5.0mm		壁 ：ビニルクロス貼	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			
						※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（4）の防火被覆			

※屋内の構造木材表し部分は：燃え代45mmの上、木材保護塗料塗仕上げとする。

綜合建築設計事務所
一級建築士事務所 登録(梨)第1−24366号
一級建築士 登録 第 110879号 小林 一

承認	設計	担当		縮尺
				設計年月日 00・00・00

工事名称 大月短大新校舎建設工事

図面名称 内部仕上表 （1）

D−10

No,

内 部 仕 上 表（2）

階	室名（内装制限 排煙設備建設省告示）	床高 仕上げ面（スラブ面）	床	巾木（巾木の高さ）	壁	天井	廻り縁	CH（平均天井高）	備考
2階	渡廊下	±0	QLデッキコンクリート金ゴテ+SLモルタル下地	ソフト巾木（H=100）	軽量鉄骨下地（一部GL工法）硬質石膏ボードt=9.5mm下地	LGS 19形 下地 (@360)	塩ビ突付	2700	消火器BOX
		(−12)	長尺塩ビシートt=2mm		壁 ：ビニルクロス貼	石膏ボードt=9.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			三方枠：スギ集成材CL（新校舎側とC号館側）
	廊下・学生ラウンジ	±0	構造用合板t24+硬質PBt12.5×2枚ｻｳﾝﾄﾞｶｯﾄ貼+ ※国交省告示第253号第3 第三のイの（1）の防火被覆	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 (@360)	塩ビ突付	2700	ロールスクリーンは別途、縦型日除けルーバー（ヒノキ集成材）、消火器BOX
		(−64)	土足用WPC天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		腰壁 ：スギ羽目板t=12mm+見切縁米松30×20CL H=1100	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			CLT壁パネル（ベンチ付×2）
					壁 ：ビニルクロス貼	※平成12年建設省告示1358号 第5 一のハの（2）の（i）の防火被覆			
	倉庫1・2・3	±0	構造用合板t24+硬質PBt12.5×2枚ｻｳﾝﾄﾞｶｯﾄ貼+ ※国交省告示第253号第3 第三のイの（1）の防火被覆	ソフト巾木（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 (@303)	塩ビ突付	2700	
		(−64)	土足用WPC天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		壁 ：ソフト吹付	強化石膏ボードt=12.5の上 EP塗			
						※平成12年建設省告示1358号 第5 一のハの（2）の（i）の防火被覆			
	一般教室（A、B）	±0	構造用合板t24+硬質PBt12.5×2枚ｻｳﾝﾄﾞｶｯﾄ貼+ ※国交省告示第253号第3 第三のイの（1）の防火被覆	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 (@360)	塩ビ突付	3050	カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンは別途）
		(−64)	土足用WPC天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		腰壁 ：銘木合板t=5mm+見切縁米松30×20CL H=1100	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			スライドプロジェクター付UDスライダー平面黒板W4500×1200
					壁 ：ビニルクロス貼	※平成12年建設省告示1358号 第5 一のハの（2）の（i）の防火被覆			
	コース別教室（1、2、3）	±0	構造用合板t24+硬質PBt12.5×2枚ｻｳﾝﾄﾞｶｯﾄ貼+ ※国交省告示第253号第3 第三のイの（1）の防火被覆	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 (@360)	塩ビ突付	3050	カーテンBOX（ステンレスレール+カーテンは別途）
		(−64)	土足用WPC天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		腰壁 ：銘木合板t=5mm+見切縁米松30×20CL H=1100	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			スライドプロジェクター付UDスライダー平面白板W3600×1200
					壁 ：ビニルクロス貼	※平成12年建設省告示1358号 第5 一のハの（2）の（i）の防火被覆			（1）のみ：縦型日除けルーバー（ヒノキ集成材）
	WC（M、L）	±0	構造用合板t24+硬質PBt12.5×2枚ｻｳﾝﾄﾞｶｯﾄ貼+ ※国交省告示第253号第3 第三のイの（1）の防火被覆	床材立上+アルミ見切（H=300）	石膏ボードt=12.5+不燃耐水石膏ボードt=12.5の上	LGS 19形 下地 (@360)	塩ビ突付	2700	補助手すり（L型、小便器用）、化粧鏡、
		(−63)	構造用合板t=12+ビニル床シートt=2mm（耐汚染性、防汚、抗菌、防滑、消臭、土足用）		壁：化粧ケイ酸カルシウム板 t=6mm貼 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	繊維混入珪酸カルシウム板t=8+8 目スカシ張 EP			人造大理石洗面カウンターL2408、2881、ライニング壁+甲板：メラミンポスト
	不【建告1436-4-ハ(2)】：室		※東リ：消臭NSトフレ（CSR=0.50〜0.90）同等品		※エーアンドエーマテリアル：ステンドｷ400 同等品	※平12建告1358号第5 一のハの（2）の（vii）の防火被覆			フォームL688、688、5188
	多目的WC	±0	構造用合板t24+硬質PBt12.5×2枚ｻｳﾝﾄﾞｶｯﾄ貼+ ※国交省告示第253号第3 第三のイの（1）の防火被覆	床材立上+アルミ見切（H=300）	石膏ボードt=12.5+不燃耐水石膏ボードt=12.5の上	LGS 19形 下地 (@360)	塩ビ突付	2700	（L型手すり、可動式手すり、化粧鏡）は機械工事
		(−63)	構造用合板t=12+ビニル床シートt=2mm（耐汚染性、防汚、抗菌、防滑、消臭、土足用）		壁：化粧ケイ酸カルシウム板 t=6mm貼 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	繊維混入珪酸カルシウム板t=8+8 目スカシ張 EP			ステンレス床見切りW40、ライニング壁+甲板：メラミンポストフォーム
	不【建告1436-4-ハ(2)】：室		※東リ：消臭NSトフレ（CSR=0.50〜0.90）同等品		※エーアンドエーマテリアル：ステンドｷ400 同等品	※平12建告1358号第5 一のハの（2）の（vii）の防火被覆			
	講堂（視聴覚室）	0〜2400	構造用合板t24+硬質PBt12.5×2枚ｻｳﾝﾄﾞｶｯﾄ貼+ ※国交省告示第253号第3 第三のイの（1）の防火被覆	木製CL（H=100）	ちどり建枠+強化石膏ボードt=12.5+硬質石膏ボードt=9.5+GW24Kt50×2枚挿入 吉野準耐火スーパーウォールWP（準耐火60分壁+遮音性能51TLD）：QF060BP-0007、小屋裏共	LGS 19形 下地 (@360)	塩ビ突付	5000	カーテンBOX、電動喝幕カーテン、縦型日除けルーバー（ヒノキ集成材CL）、
		(−64)	土足用WPC天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		腰壁 ：スギ突板t=12mm（準不燃）+見切縁米松30×20CL H=2900	強化石膏ボードt=12.5mm捨張ロックウール吸音版t=27、15mm			電動UDスライダー黒板W5400×1200、消火器BOX、天井収納電動巻上スクリーン、
			※階段床下の床：ラワンベニヤt=12mm貼+階段部分：鋼製床下地		壁 ：ロックウール吸音板t=9mm	※平12建告1358号第5 一のハの（2）の（j）の防火被覆 大建：ダイロートン オトテン200W、100A、3同等品			固定机+可動式固定椅子（座パッド付）：323席（内5席は可動式：車いす用）：備品
									窓側甲板：スギ集成材t30CL W450×7200（H2900、1900）
									手摺：ヒノキ集成材120×60（50）CL、手すり子：スチールEPG塗
									階段床段鼻：アルミ製ノンスリップW35
共用	押入・収納	±0	SLモルタル下地	ソフト巾木（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 (@360)	塩ビ突付	2700 階段踊り場下	（押入れ）中段棚+天袋棚：ラワン合板t=5.5
		(−12)	ビニル床シートt=2mm（耐荷重、耐薬品、抗菌、防カビ、防滑、土足用）		壁 ：ソフト吹付	石膏ボードt=12.5+12.5 mm+EP塗			
	不【建告1436-4-ハ(2)】：室					※平成12年建設省告示1358号 第5 一のハの（2）の（i）の防火被覆			
	階段A、B	0〜3500	構造用合板t24+硬質PBt12.5×2枚ｻｳﾝﾄﾞｶｯﾄ貼+ ※国交省告示第253号第3 第三のイの（1）の防火被覆	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 (@360)	塩ビ突付	6200	段鼻：ステンレス製ノンスリップW35
		(−64)	土足用WPC天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		腰壁 ：銘木合板t=5mm+見切縁米松30×20CL H=1100	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			
	不【建告1436-4-ハ(2)】：室		※踏板、ササラ桁は階段詳細図による 建設省告示第1358号第6第一、二号（令第107条の2第一号に掲げる階段の構造方法）		壁 ：ビニルクロス貼	※平成12年建設省告示1358号 第5 一のハの（2）の（i）の防火被覆			
	階段C	0〜2560	構造用合板t24+硬質PBt12.5×2枚ｻｳﾝﾄﾞｶｯﾄ貼+ ※国交省告示第253号第3 第三のイの（1）の防火被覆	木製CL（H=100）	石膏ボードt=12.5+12.5の上 ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 (@360)	塩ビ突付	5000	段鼻：ステンレス製ノンスリップW35
		(−64)	土足用WPC天然木複合フローリングt=15mm直貼 ※大建：コミュニケーションタフt=15mm同等品		腰壁 ：銘木合板t=5mm+見切縁米松30×20CL H=1100	強化石膏ボードt=12.5mm捨張の上 ロックウール吸音版t=9mm			
	不【建告1436-4-ハ(2)】：室		※踏板、ササラ桁は階段詳細図による 建設省告示第1358号第6第一、二号（令第107条の2第一号に掲げる階段の構造方法）		壁 ：ビニルクロス貼	※平成12年建設省告示1358号 第5 一のハの（2）の（i）の防火被覆			
	PS、EPS		（1F）モルタル金ゴテ		石膏ボードt=12.5+12.5表し ※平27年国交省告示253号 第1 一のハの（1）の防火被覆	LGS 19形 下地 (@360)：2Fは@303			
			（2F）構造用合板t24+硬質PBt12.5×2枚ｻｳﾝﾄﾞｶｯﾄ貼			（1F）強化石膏ボードt=12.5+12.5 ※平成12年建設省告示1358号 第5 一のハの（2）の（i）の防火被覆			
	不【建告1436-4-ハ(2)】：室					（2F）強化石膏ボードt=12.5mm ※平27年国交省告示253号 第3 三のロの（2）の防火被覆			

特 記

SLモルタル下地	SLモルタル（セルフレベリング材）は、セメント系とし、基準厚さは10mmとする。下のコンクリートは金ゴテ1回押えとする。
金ゴテ下地	床 コンクリート金ゴテ下地は、下ずり・中ずり・仕上げずりの3工程を標準とし、壁の巾木周りの平坦さは、3mにつき3mm以内とする。
	※腰壁は、階段教室は山梨県産スギ突板（準不燃）t=12mm、その他は山梨県産スギ羽目板t=12mmとする。ルーバーは大月市産ヒノキ集成材とする。
	※ライニング腰壁は、間柱90×45@303下地+ラワンベニヤt=12mm+硬質PBt=9.5mm下地、甲板：メラミンポストフォーム120×25
	※屋内の構造木材表し部分は：燃え代45mmの上、木材保護塗料塗仕上げとする。
	※KPSパネルは山梨県産カラマツLVL、CLTパネルは山梨県産スギとする。合板は国産材針葉樹とする。
	※階段段板・蹴込み板は大月市産ヒノキ（又はスギ）LVL、階段力桁・手すりは大月市産ヒノキ（又はスギ）集成材とする。
	※木材の加工工場は、甲斐東部材プレカット共同組合とし、山梨県産材及び大月市産材を活用する。

内装制限 認定番号

化粧ケイ酸カルシウム板t=6mm	不燃：NM−8577	耐水石膏ボード（GB−S）	準不燃：QM−9826
石膏ボード（GB−R）t=12.5mm	不燃：NM−8619	不燃耐水石膏ボード（GB−S）	不燃：NM−9639
石膏ボード（GB−R）t=9.5mm	準不燃：QM−9828	ケイ酸カルシウム板	不燃：NM−8578
強化石膏ボード（GB−F）	不燃：NM−8615	不燃グラスウールパネルt=50mm	不燃：NM−8606
硬質石膏ボード（GB−R−H）	不燃：NM−9645	不燃ビニルクロスA（不燃PB、不燃下地）	不燃：NM−1149
硬質石膏ボード（GB−R−H）：軽量型	不燃：NM−1908	他のビニルクロス（不燃PB、準不燃下地）	準不燃：QM−9413
ロックウール吸音板	不燃：NM−8599	準不燃バスパネル	準不燃：QM−0515
化粧石膏ボード（GB−D）	準不燃：QM−0524	塗料塗装仕上げ（不燃下地）	不燃：NM−8585
不燃化粧石膏ボード（GB−NC）	不燃：NM−1864	塗料塗装仕上げ（準不燃下地）	準不燃：QM−9816

内装制限 凡例

特記ナキ部分は 難燃材とする

難	壁（H=1200以上）・天井仕上は、難燃材
準	壁（H=1200以上）・天井仕上は、準不燃材
準	壁・天井仕上は、準不燃材
不	壁・天井の下地・仕上共、不燃材料
不	天井から排煙上有効高までの壁仕上を不燃材料（防煙壁）

綜合建築設計事務所
一級建築士事務所 登録(梨)第1−24366号
一級建築士 登録 第 110879号 小林一

承認	設計	担当	縮尺
			設計年月日 00・00・00

工事名称 大月短大新校舎建設工事

図面名称 内部仕上表 （2）

D−11

No,

内 装 工 事 特 記 事 項

（１）　木材仕様　構造材は特記による。
（２）　床 セルフレベリング材下地（ＳＬモルタル）は、セメント系ｔ＝１０ｍｍとする。
（３）　天然木化粧複合フローリングは、表層３ｍｍ挽材単板貼で土足用保護塗装品とする。
（４）　フリーアクセルフロア及びＳＬモルタル下地の土間コンクリートは金ゴテ１回押えとする。
（５）　ライニング壁は、木製下地Ｗ＝９０ｍｍとする。甲板はメラミンポストフォームｔ＝２５とする。
（６）　洗面カガミは、ラワンベニヤｔ＝１２ｍｍ下地カガミｔ＝５ｍｍ貼、ステンレス枠共とする。
（７）　カーテンボックスは、木製ＣＬ　ｗ１５０×ｈ１００。
　　２階講堂は電動暗幕カーテンとする。
（８）　ロールスクリーンボックスは、木製ＣＬ　ｗ１５０×ｈ１００とする。
（９）　合板は全て、タイプⅠ（完全耐水）とする。
（１０）黒板は、アルミ枠スチール製、暗線入り、ピクチャーレール、チョークボックス付とする。（詳細図参照）
　　※プロジェクター付の場合のプロジェクターは建築工事とする。
（１１）白板は、アルミ枠ホーロー製、ピクチャーレール、チョークボックス付とする。（詳細図参照）
（１２）掲示壁は、木製枠ＣＬ、木胴縁組下地ラワンベニヤｔ＝５.５ｍｍの上掲示用クロス貼とする。（詳細図参照）
（１３）長尺塩ビシートは、溶接目地処理とする。
（１４）アクリルソフト、及び、ＥＰ塗は、ツヤ有り又は半ツヤ仕上げとする。
（１５）天井点検口は、アルミ枠既製品４５０角 １階８６ヶ所＋２階７９ヶ所 計１６５ヶ所取付。
（１６）消火器ＢＯＸは、埋込み型 扉付とする。（消火器はＡＢＣ粉末１０型で本工事に含める）
（１７）誘導標識は、消防法による規格サイズとして、最終取り付け位置は監督員及び消防署立会いの指導による
（１８）建築基準法第２８条の２により規制を受ける建築材料はＦ☆☆☆☆を原則とする。（シックハウス対策）
（１９）壁紙、ビニール床シート・巾木等の施工時に使用する接着剤は、トルエンやキシレンの発生の原因となる有機溶剤の含有の少ないものとする。（塗装に関しても準ずる）
（２０）壁紙、木工用接着剤等に含まれる可塑材は、難揮発性のものとする。
（２１）木材保存剤（木材の防腐・防蟻処理）は、非有機リン系とし、工場において加圧式防腐・防蟻処理等を行うものとし、充分に乾燥した後に搬入し、現場における塗布又は吹付は、現場において加工した箇所のみとする。
（２３）化学物質の室内濃度の測定について、検査方法、検査回数、判定基準は文部科学省の『学校環境衛生の基準』により、指針値以下であることを確認する。
　　※化学物質の濃度測定室及び箇所数については、監督員の承諾を受けること

建築主体工事で行う天井開口補強、梁貫通補強など

電気設備分		機械設備分		建築主体分		
天井開口補強		天井開口補強		天井開口補強		
450×450	46ヶ所	450×450	119ヶ所	250×4850	1ヶ所	
		950×950	40ヶ所			
		1000×650	21ヶ所			
		400×400	180ヶ所			
		900×150	106ヶ所			
		700×700	3ヶ所			
梁スリーブ補強		梁スリーブ補強		1階スラブ開口補強		
100φ以下	20ヶ所	200φ	8ヶ所	450×450	11ヶ所	
		150φ	14ヶ所	600φ	2ヶ所	
		100φ	17ヶ所			

メーカー同等品一覧表

※承認図を提出して、監督員の承諾を得ること

部位 ＼ 同等品名	メーカーA	メーカーB	メーカーC	備　考
	名称	名称	名称	
土足用直貼天然木化粧複合フローリング材	北海道バーケット工業	北海道バーケット工業	大建工業	
	リージェントキャンバスSMH加工ｔ＝15	キャンバス13WPC加工ｔ＝13	コミュニケーションタフｔ＝15ｍｍWPC	
	大建工業	大建工業	朝日ウッドテック	
	ユカフィットCP2ｔ＝12ｍｍUV塗装	デザインタフエンブWPC加工ｔ＝4．7ｍｍ	Gフローリング2　ｔ＝15ｍｍ	
木調不燃壁材	大建工業	大建工業	東リ	
	プレミアート内装用（ｔ6）NM-1134	プレミアートリモデル内装用　ｔ＝3ｍｍ NM-1203	デコパネル　ｔ＝3ｍｍ 不燃、専用額見切、出隅見切、専用巾木あり	
銘木合板（壁用）	大建工業	大建工業	大建工業	
	銘木合板メロディ（天然木、ｔ＝5ｍｍ）	銘木合板ソナタ（天然木、ｔ＝5ｍｍ）	モダンスタイルウォール（壁パネル、化粧シート、ｔ＝5．6ｍｍ）	
外壁：硬質セメント板（１時間準耐火対応）	ニチハ	ニチハ	ニチハ	
	モエンエクセラードF16Fｕｇｅ（フーゲ）カルナウッドｔ＝16、Wブラチナコート（★）、マイクロガード	モエンエクセラードF16グランスベック60 コートリーウッドF16、ブラチナコート、マイクロガード	モエンエクセラードFｕｇｅ（フーゲ）スカイウッドⅡ ｔ＝16、Wブラチナコート（★）、マイクロガード	
	変色褪色15年保証、四方合いじゃくり、通気金物対応 ブラチナコート10年保証、ブラチナシール15年保証	ブラチナコート10年保証、マイクロガード15年保証 通気工法対応、出隅役物	変色褪色15年保証、四方合いじゃくり、通気金物対応 ブラチナコート10年保証、ブラチナシール15年保証	
	出隅ドライジョイント工法 （★）ブラチナコート＋（ブラチナシール又はドライジョイント）：遮無機複合化15年保証		出隅ドライジョイント工法 （★）ブラチナコート＋（ブラチナシール又はドライジョイント）：遮無機複合化15年保証	
木材保護塗料（屋外用）	大阪ガスケミカル	大阪ガスケミカル	キャピタルペイント	
	キシラデコール	キシラデコールフォレステージ	ワンダー水性１液型ウッドガード	
木材保護塗料（屋内用）	大阪ガスケミカル	大阪ガスケミカル	キャピタルペイント	
	キシラデコールインテリアファイン	キシラデコールインテリアファイントップコート	ワンダー水性１液型、又は、モーエンアクアシリーズ：NM-0700	
屋根耐火野地板（耐火30分、断熱、遮音）	元旦ビューティー工業	竹村工業	ニチハ	
	元旦ボード（化粧木毛セメント板）ｔ＝40	TSボード（高圧木毛セメント板） ｔ＝20ｍｍ、FP030RF-9037	センチュリー耐火野地板（硬質木片セメント板） ｔ＝18ｍｍ、FP030RF-9082	
	熱還流抵抗＝0．71、熱還流率1．638 吸音性能0．76（100Hz）	熱還流抵抗＝0．167		
壁：60分準耐火＋遮音システム（講堂回り）	吉野石膏	吉野石膏	吉野石膏	
	吉野準耐火スーパーウォールWP、W＝184 準耐火認定番号：QF060BP-0007	タイガードリーミィ・60 耐火認定番号：FP060NP-0198	ハイパーウォールZ・WI 耐火認定番号：FP060NP-0200	
	遮音構造認定番号：SO1-0052 ＊目地処理必須＋専用四周処理	遮音構造認定番号：SO1-0112 ＊目地処理必須＋専用四周処理	遮音構造認定番号：SO1-0112 ＊目地処理必須＋専用四周処理	
２階床：60分準耐火＋遮音システム	吉野石膏 ＮＥ－15	吉野石膏 ＮＥ－3		
	構造用合板ｔ＝24ｍｍ＋TSHｔ＝12．5×2枚 サウンドカット全面順目引き（600ｇ／㎡）	構造用合板ｔ＝24ｍｍ＋TSHｔ＝12．5×2枚 サウンドカット全面順目引き（600ｇ／㎡）		
	＋フローリングｔ＝12貼（縦太レス工法） ＊独立天井：TBｔ＝12．5ｍｍ×2枚 グラスウールｔ＝50ｍｍ（24ｋｇ／㎥） ＊準耐火60分に適合 （重量床衝撃音Ｌｍ－59、軽量床衝撃音Ｌｌ－54 音響透過損失TLo－59）	＋フローリングｔ＝12貼（縦太レス工法） ＊直天井：TBｔ＝12．5ｍｍ×2枚（又はTBZ12．5＋ロックウール吸音板ｔ＝9．5） グラスウールｔ＝50ｍｍ（24ｋｇ／㎥） ＊準耐火60分に適合 （重量床衝撃音Ｌｍ－67、軽量床衝撃音Ｌｌ－64 音響透過損失TLo－54）		

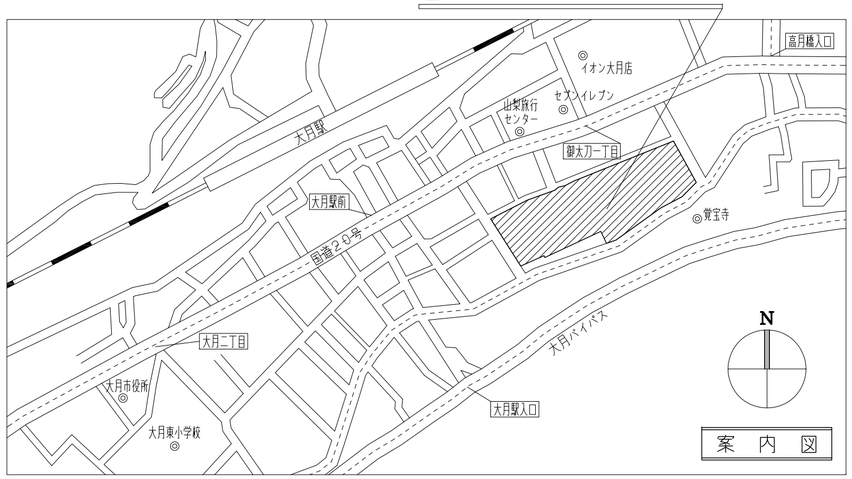
綜合建築設計事務所
一級建築士事務所 登録(梨)第1－19366号
一級建築士 登録 第 110879号 小林一

承認	設計	担当		縮尺
				設計年月日 00・00・00

工事名称　大月短期大学新校舎建設工事
図面名称　内装工事特記事項・メーカー同等品一覧表

D－12
No,

工事場所：山梨県大月市御太刀１－１６－２



敷地内建物リスト

	棟番号	建物名称	構造	階数 最高高（m）	延床面積（㎡）	建築面積（㎡）		棟番号	建物名称	構造	階数 最高高（m）	延床面積（㎡）	建築面積（㎡）	
申請建物→	①	新校舎	木造 渡廊下はS造	2階 11.228	2483.96	1363.70	1時間準耐火	8	倉庫1	S造	1階 3.80	25.92	25.92	その他
	②	C号館（講義棟）	RC造 EV棟はS造	4階 14.80	1738.34	501.94	耐火	9	ポンプ室	CB造	1階 2.6	4.80	4.80	その他
	③	S号館（短大棟）	RC造	3階 11.85	938.25	445.84	耐火	10	倉庫2	CB造	1階 2.6	12.00	12.00	その他
	4	渡り廊下	S造	1階 3.50	16.92	16.92	その他	11	PCB保管庫	S造	1階 2.60	9.00	9.00	その他 除却
	⑤	岩殿ホール（管理棟）	RC造	2階 8.00	495.64	295.76	耐火	12	ゴミ置場1	S造	1階 2.45	4.75	4.75	その他
	6	屋内運動場	S造	2階 10.65	1205.99	1096.15	準耐火	13	ゴミ置場2	S造	1階 2.45	4.75	4.75	その他
	7	部室棟	RC造	2階 11.10	621.00	329.40	準耐火	14	倉庫3	S造	1階 3.5	32.40	32.40	その他
									計			7593.72	4143.33	

※　◎は建築基準法第6条上の同一棟、ただし、山梨県建築基準法関係運用基準17）1項により防火上別棟として扱うものとする

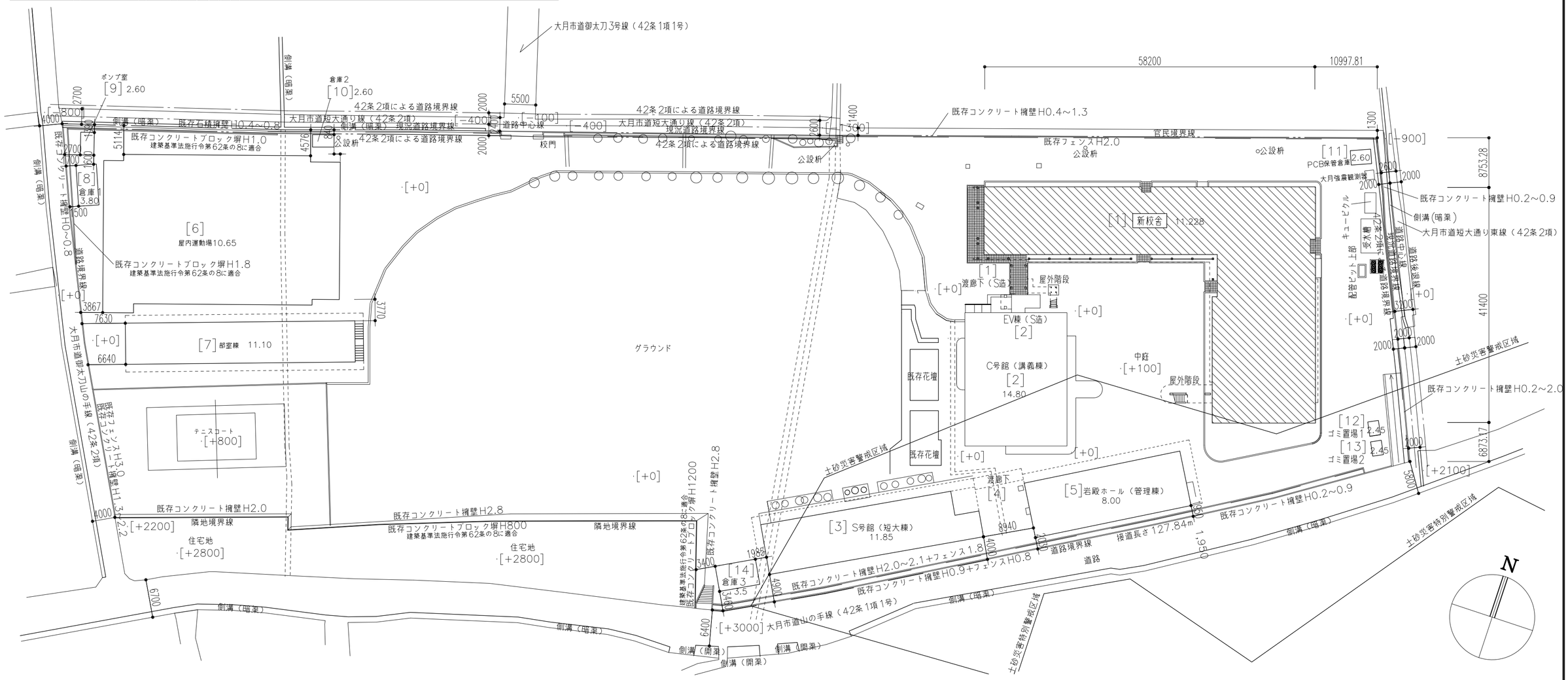
※　3,4,5は、新校舎完成引越し後に解体撤去の予定

※レベルは　[+0]=GL　とする

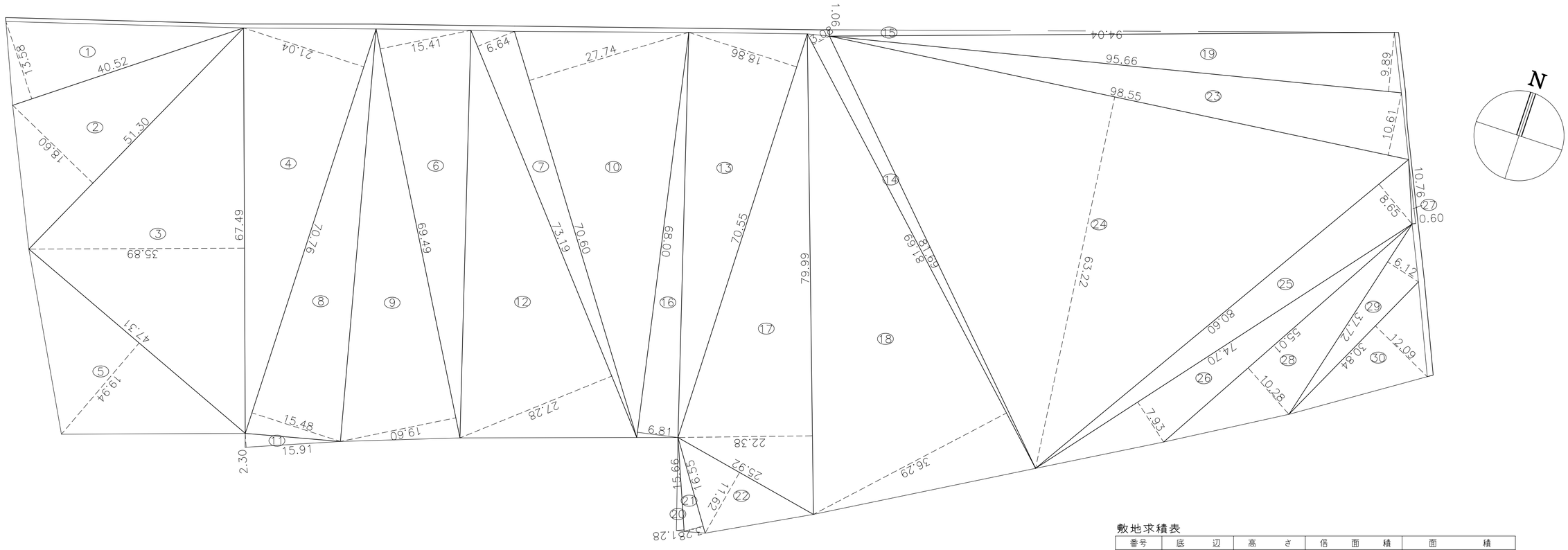
※敷地外周既存擁壁、フェンスに構造耐力を損なう恐れのある著しい亀裂、破損等は見られず安全上の支障はない

※当該敷地北側、及び、東側の擁壁、石積みは既存不適格構造物である

※県条例による崖（3m以上、かつ、勾配30%以上）はない



綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 1/500 設計年月日 00・00・00	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－13
					図面名称	配置図・案内図	No,



敷地求積図　1/500

敷地求積表

番号	底　辺	高　さ	倍　面　積	面　積
1	40.52	13.58	550.2616	275.13080
2	51.30	18.60	954.1800	477.09000
3	67.49	35.89	2,422.2161	1,211.10805
4	70.76	21.04	1,488.7904	744.39520
5	47.31	19.94	943.3614	471.68070
6	69.49	15.41	1,070.8409	535.42045
7	73.19	6.64	485.9816	242.99080
8	70.76	15.48	1,095.3648	547.68240
9	69.49	19.60	1,362.0040	681.00200
10	70.60	27.74	1,958.4440	979.22200
11	15.91	2.30	36.5930	18.29650
12	73.19	27.28	1,996.6232	998.31160
13	70.55	18.86	1,330.5730	665.28650
14	81.69	3.08	251.6052	125.80260
15	94.04	1.06	99.6824	49.84120
16	68.00	6.81	463.0800	231.54000
17	79.99	22.38	1,790.1762	895.08810
18	81.69	36.29	2,964.5301	1,482.26505
19	95.66	9.89	946.0774	473.03870
20	15.66	1.28	20.0448	10.02240
21	16.55	3.28	54.2840	27.14200
22	25.92	11.62	301.1904	150.59520
23	98.55	10.61	1,045.6155	522.80775
24	98.55	63.22	6,230.3310	3,115.16550
25	80.60	8.65	697.1900	348.59500
26	74.70	7.93	592.3710	296.18550
27	10.76	0.60	6.4560	3.22800
28	55.01	10.28	565.5028	282.75140
29	37.72	6.12	230.8464	115.42320
30	30.84	12.09	372.8556	186.42780
合　計				16,163.53640
敷地面積				16,163.53㎡

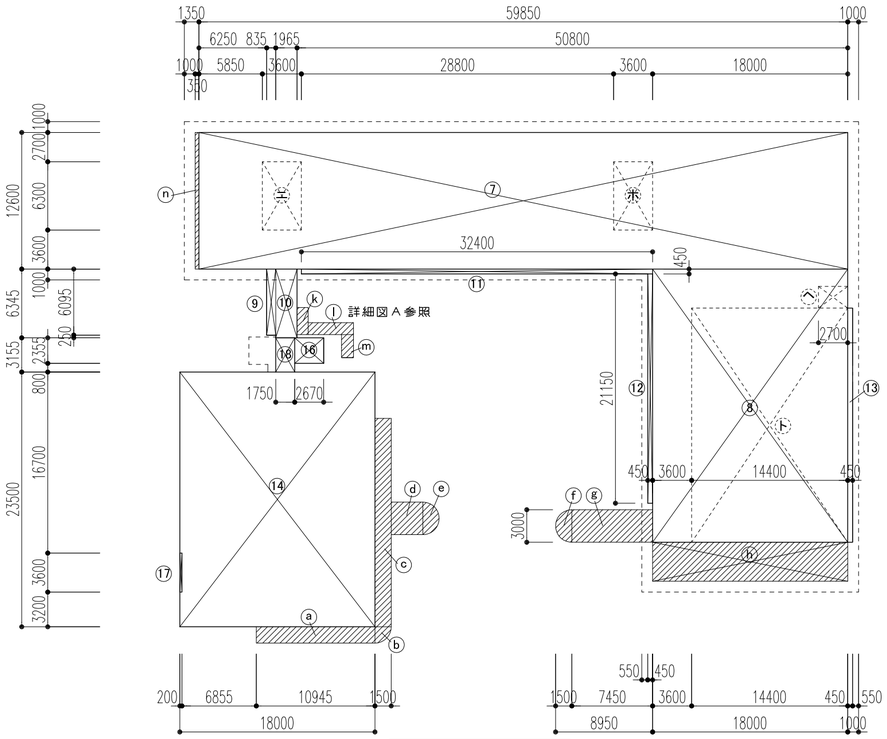
綜合建築設計事務所
一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号
一級建築士 登録 第 110879号 小林 一

承認	設計	担当	

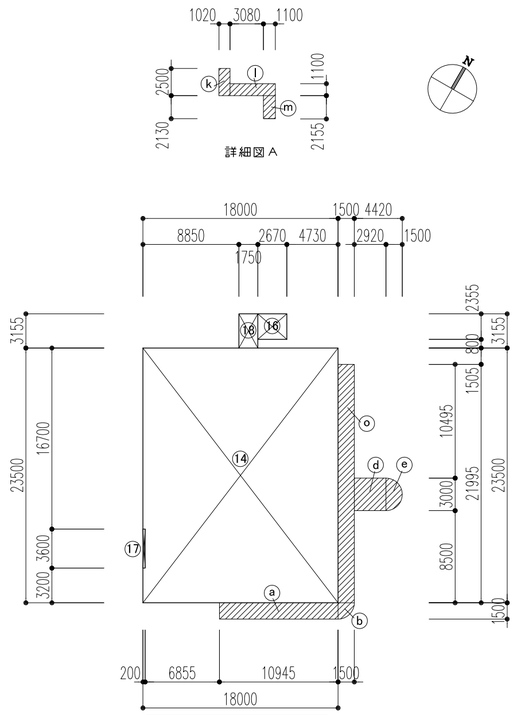
縮尺 A2:1/500. A4:1/1000
設計年月日 00・00・00

工事名称　大月短期大学新校舎建設工事
図面名称　敷地面積求積図・求積表

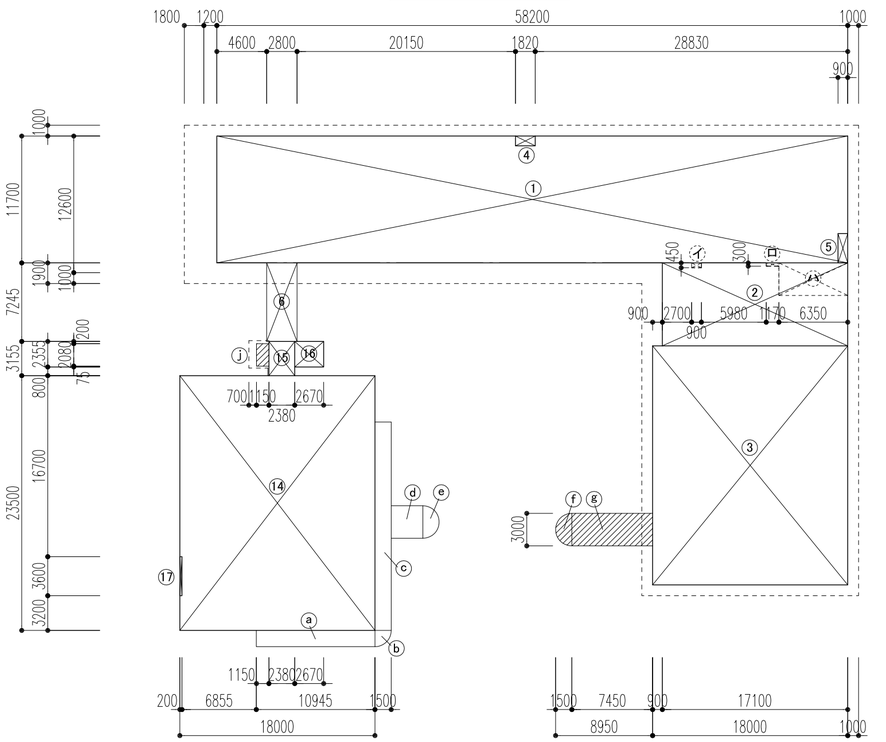
D－14
No,



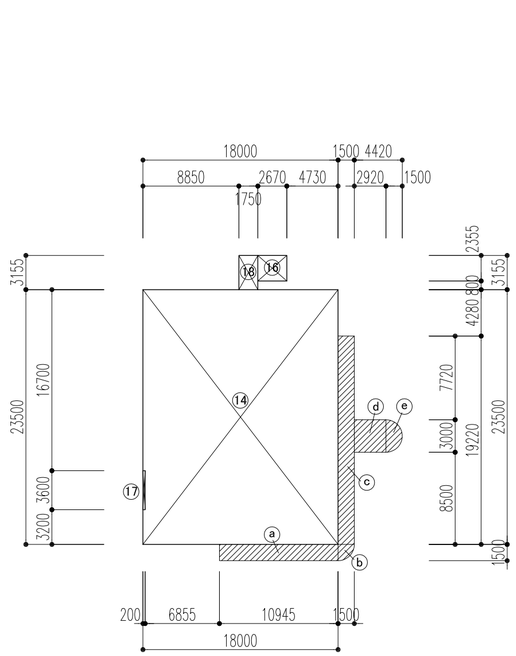
２階求積図　Ｓ＝１／４００



４階求積図　Ｓ＝１／４００



１階求積図　Ｓ＝１／４００



３階求積図　Ｓ＝１／４００

建物面積求積表（建築基準法）

①	11,700 (mm)	×	58,200 (mm)	=	680.940 (m²)	＊本造部分
②	7,650	×	17,100	=	130.815	＊本造部分
③	22,050	×	18,000	=	396.900	＊本造部分
④	900	×	1,820	=	1.638	＊本造部分
⑤	2,700	×	900	=	2.430	＊本造部分
⑥	7,245	×	2,800	=	20.286	＊鉄骨造部分
⑦	12,600	×	59,850	=	754.110	＊本造部分
⑧	25,200	×	18,000	=	453.600	＊本造部分
⑨	6,095	×	835	=	5.089	＊鉄骨造部分
⑩	6,345	×	1,965	=	12.468	＊鉄骨造部分
⑪	450	×	32,400	=	14.580	＊本造部分
⑫	21,150	×	450	=	9.518	＊本造部分
⑬	21,600	×	450	=	9.720	＊本造部分
⑭（既存）	23,500	×	18,000	=	423.000	＊RC造部分
⑮（既存）	3,155	×	2,380	=	7.509	＊鉄骨造部分
⑯（既存）	2,355	×	2,670	=	6.288	＊鉄骨造部分
⑰（既存）	3,600	×	200	=	0.720	＊RC造部分
⑱（既存）	3,155	×	1,750	=	5.521	＊鉄骨造部分
ⓐ（既存）	1,500	×	10,945	=	16.418	＊RC造部分
ⓑ（既存）	1,500 × 1,500	×	π × 1/4	=	1.767	＊RC造部分　π＝3.14159
ⓒ（既存）	19,200	×	1,500	=	28.800	＊RC造部分
ⓓ（既存）	3,000	×	2,920	=	8.760	＊RC造部分
ⓔ（既存）	1,500 × 1,500	×	π × 1/2	=	3.534	＊RC造部分　π＝3.14159
ⓕ	1,500 × 1,500	×	π × 1/2	=	3.534	＊RC造部分　π＝3.14159
ⓖ	3,000	×	7,450	=	22.350	＊RC造部分
ⓗ	3,600	×	18,000	=	64.800	＊本造部分
ⓙ（既存）	2,080	×	1,150	=	2.392	＊鉄骨造部分
ⓚ	2,500	×	1,020	=	2.550	＊鉄骨造部分
ⓛ	1,100	×	4,180	=	4.598	＊鉄骨造部分
ⓜ	2,155	×	1,100	=	2.371	＊鉄骨造部分
ⓝ	12,600	×	350	=	4.410	＊本造部分
ⓞ（既存）	21,995	×	1,500	=	32.993	＊RC造部分
㋑	450	×	900	=	0.405	
㋺	300	×	1,170	=	0.351	
㋩	3,000	×	6,350	=	19.050	
㋥	6,300	×	3,600	=	22.680	
㋭	6,300	×	3,600	=	22.680	
㋬	2,000	×	2,700	=	5.400	
㋣	21,600	×	14,400	=	311.040	

＊1 ⑨＋⑩＋ⓚ＋ⓛ＋ⓜ ＝ 27.076m²
＊2 ⓕ＋ⓖ ＝ 25.884m²
＊3 ⑮＋⑯＋ⓙ ＝ 16.189m²

新校舎	＝申請部分		木造（1時間準耐火）	鉄骨造（耐火）：渡廊下	RC造（耐火）：外階段
1階床面積	①＋②＋③－④－⑤＋⑥s	＝ 1224.873m²	1204.587m²	20.286m²	
2階床面積	⑦＋⑧＋⑨s＋⑩s＋⑪＋⑫＋⑬	＝ 1259.085m²	1241.528m²	17.557m²	
延床面積		＝ 2483.958m²	2446.115m²	37.843m²	
建築面積	2階床面積＋ⓕRC＋ⓖRC＋ⓗ＋ⓚs＋ⓛs＋ⓜs＋ⓝ	＝ 1363.698m²	1310.738m²	＊1 27.076m²	＊2 25.884m²
C号館	＝既存建物		木造（1時間準耐火）	鉄骨造（耐火）：EV棟	RC造（耐火）
1階床面積	⑭＋⑮s＋⑯s－⑰	＝ 436.077m²		13.797m²	422.280m²
2階床面積	⑭　＋⑯s－⑰＋⑱s	＝ 434.089m²		11.809m²	422.280m²
3階床面積	⑭　＋⑯s－⑰＋⑱s	＝ 434.089m²		11.809m²	422.280m²
4階床面積	⑭　＋⑯s－⑰＋⑱s	＝ 434.089m²		11.809m²	422.280m²
延床面積		＝ 1738.344m²		49.224m²	1689.120m²
建築面積	1階床面積＋ⓐRC＋ⓑRC＋ⓓRC＋ⓔRC＋ⓙs＋ⓞRC	＝ 501.941m²		＊3 16.189m²	485.752m²

同一棟集計	新校舎（申請部分）	C号館（既存部分）	合　計	木造（1時間準耐火）	鉄骨造（耐火）	RC造（耐火）
1階床面積	1224.873m²	436.077m²	1656.270m²	1204.587m²	34.083m²	422.280m²
2階床面積	1259.085m²	434.089m²	1693.174m²	1241.528m²	29.366m²	422.280m²
3階床面積		434.089m²	434.089m²		11.809m²	422.280m²
4階床面積		434.089m²	434.089m²		11.809m²	422.280m²
延床面積	2483.958m²	1738.344m²	4217.622m²	2446.115m²	81.411m²	1689.120m²
建築面積	1363.698m²	501.941m²	1865.639m²	1310.738m²	43.265m²	511.636m²

木造部分の防火区画（面積区画）が 1,000m² 以内であることの確認

1階防火区画Ａ＝	①－④－⑤＋⑥＋㋑＋㋺＋㋩＋㋥＋㋭	＝ 762.324m²	＜ 1,000m²
1階防火区画Ｂ＝	②＋③－㋑－㋺－㋩	＝ 507.909m²	＜ 1,000m²
2階防火区画Ａ＝	2階床面積－㋥－㋭－㋬－㋣－⑬	＝ 887.565m²	＜ 1,000m²
2階防火区画Ａ以外＝	㋥＋㋭＋㋬＋㋣＋⑬	＝ 371.520m²	＜ 1,000m²

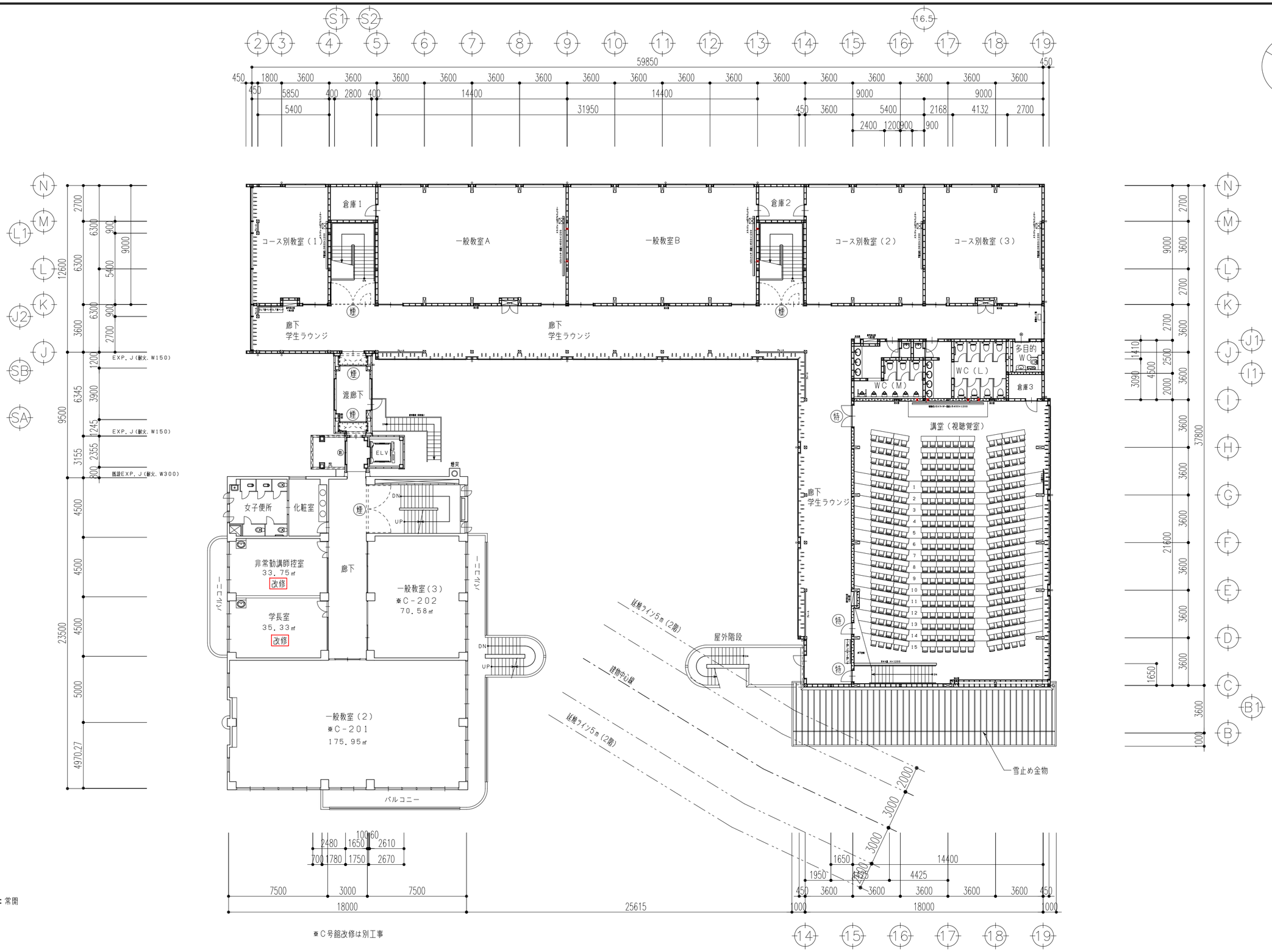
綜合建築設計事務所
一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号
一級建築士 登録 第 110879号 小林 一

承認	設計	担当	縮尺 A2:1/400. A4:1/800
			設計年月日 00・00・00

工事名称　大月短期大学新校舎建設工事
図面名称　建物面積求積図・求積表（建築基準法）

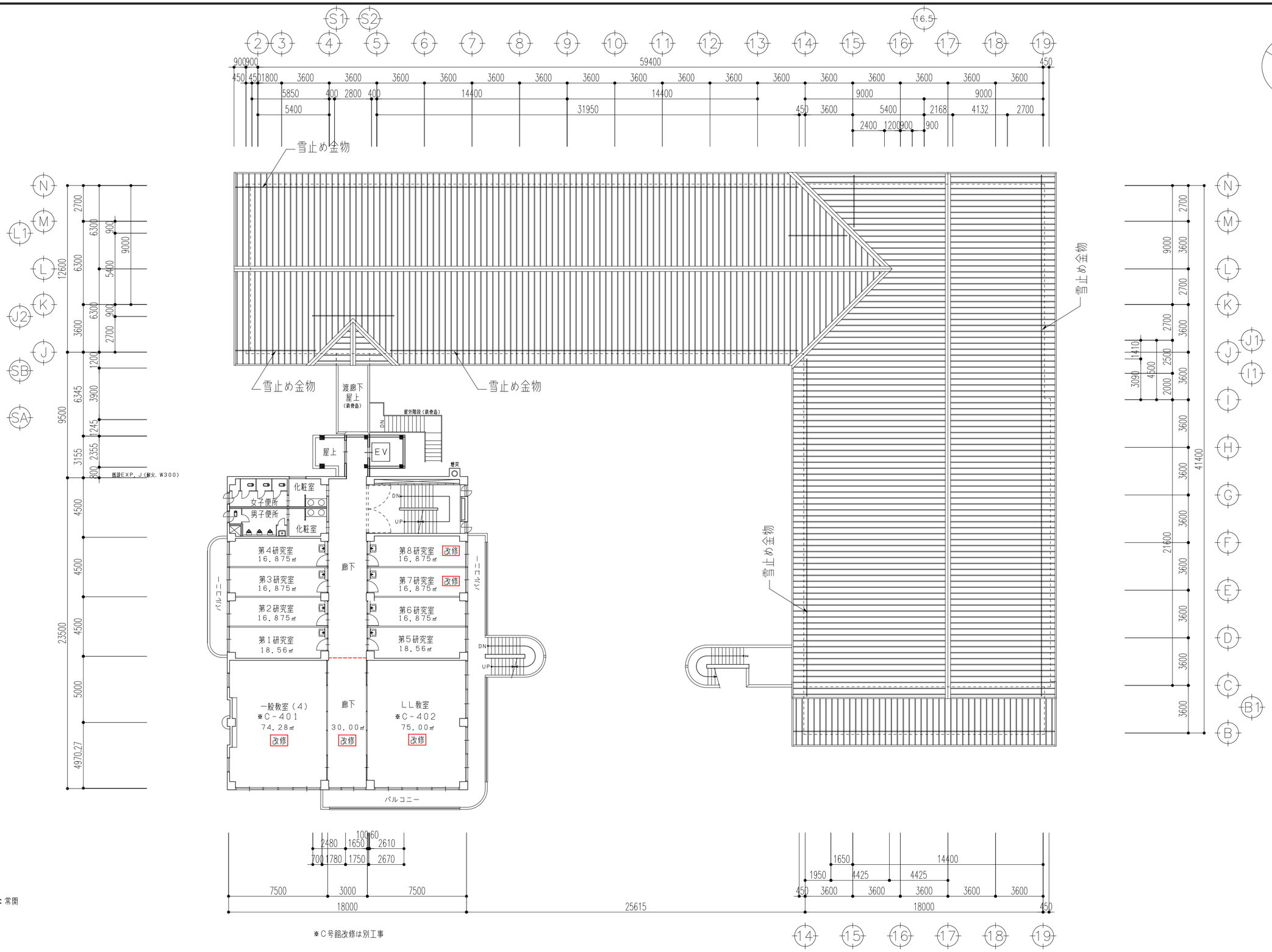
D－15
No,

綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 A2：1/200、A4：1/400 設計年月日 00・00・00	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－16 No,
					図面名称	1階平面図	



- 消火器BOX
- 自 自動ドア
- セミオート（自閉）ドア
- 煙 煙感知器連動特定防火設備：常閉
- 特 特定防火設備：常閉
- 防 防火設備

綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 A2：1/200. A3：1/282 設計年月日 00・00・00	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－17 No,
					図面名称	2階平面図	



消火器BOX

自 自動ドア

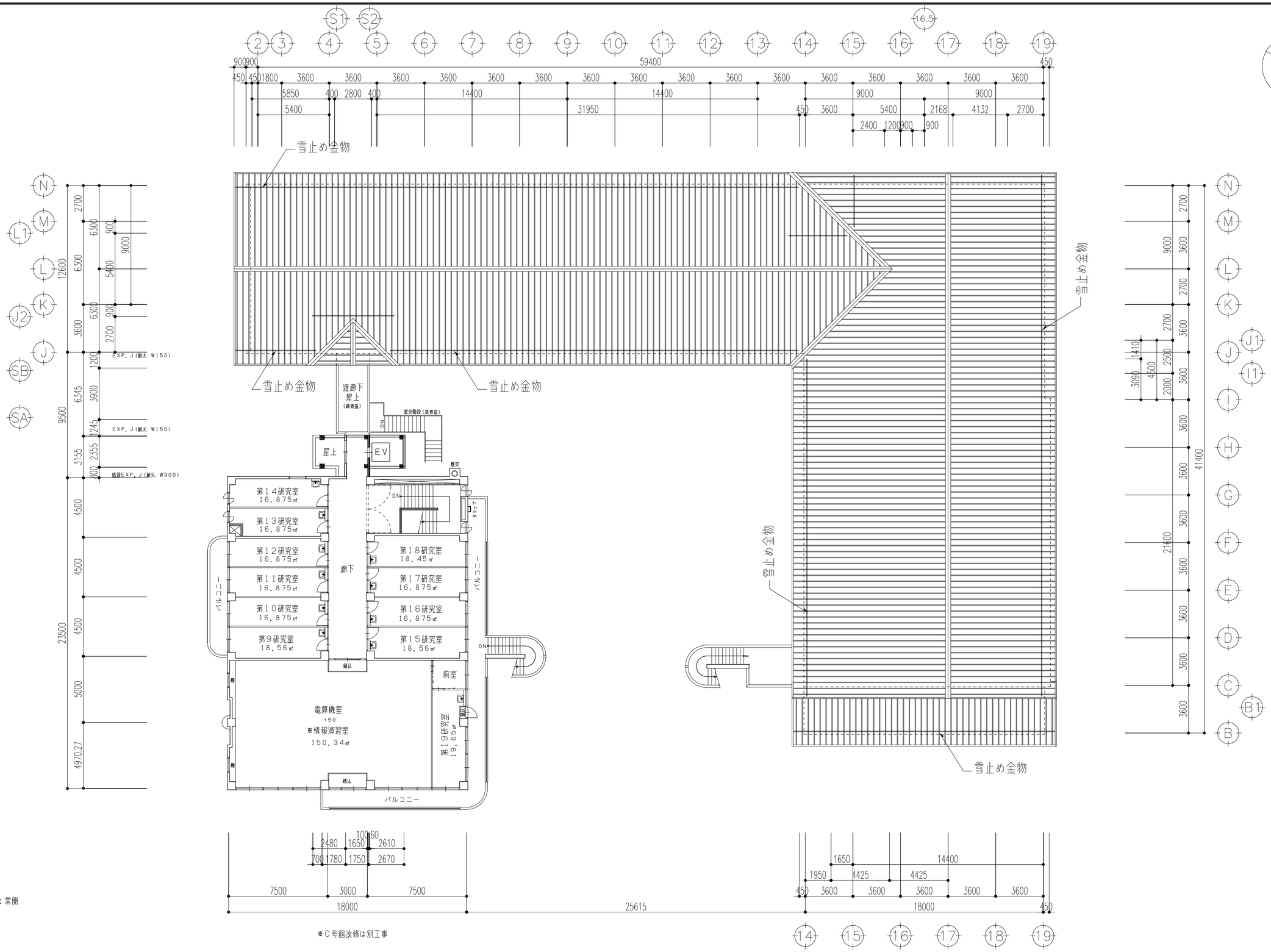
セ セミオート（自閉）ドア

煙 煙感知器連動特定防火設備：常閉

特 特定防火設備：常閉

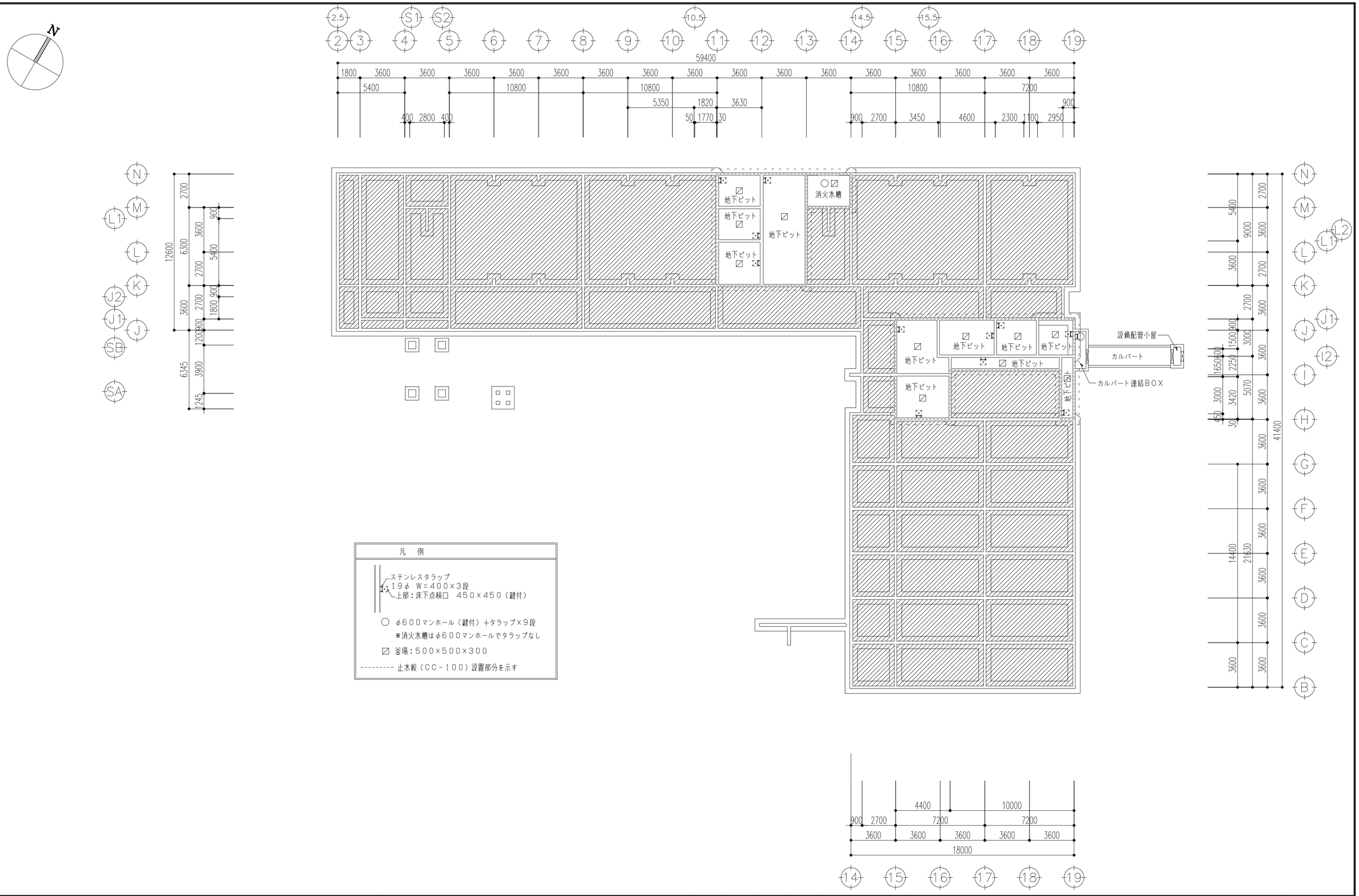
防 防火設備

綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 A2：1/200、A3：1/282 設計年月日 00・00・00	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－18 No,
					図面名称	3階平面図	



- 消火器BOX
- (自) 自動ドア
- (セミ) セミオート（自閉）ドア
- (煙) 煙感知器連動特定防火設備：常閉
- (特) 特定防火設備：常閉
- (防) 防火設備

綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 A2：1/200、A3：1/282 設計年月日 00・00・00	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－19 No,
					図面名称	4階平面図	



凡　例

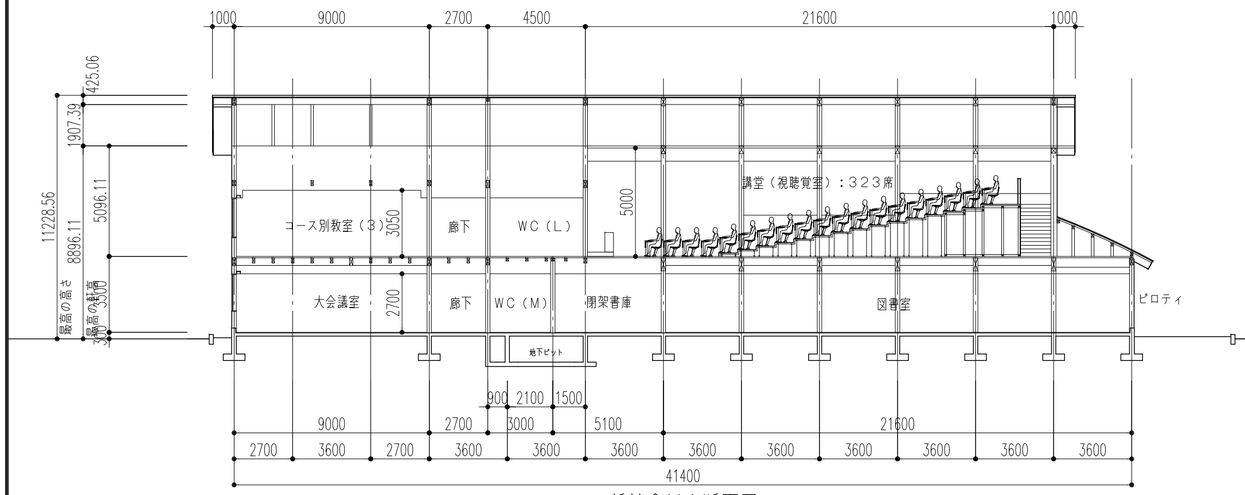
ステンレスタラップ
19φ　W=400×3段
上部：床下点検口　450×450（鍵付）

○　φ600マンホール（鍵付）＋タラップ×9段
※消火水槽はφ600マンホールでタラップなし

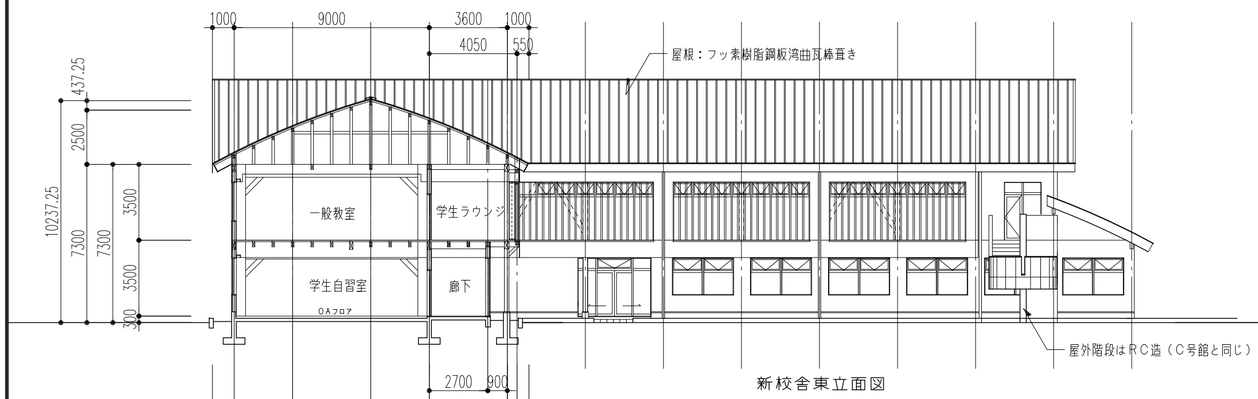
▨　釜場：500×500×300

-------- 止水板（CC－100）設置部分を示す

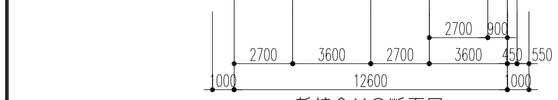
綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 A2:1/200、A4:1/400 設計年月日 00・00・00	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－20 No,
					図面名称	地下ピット平面図	



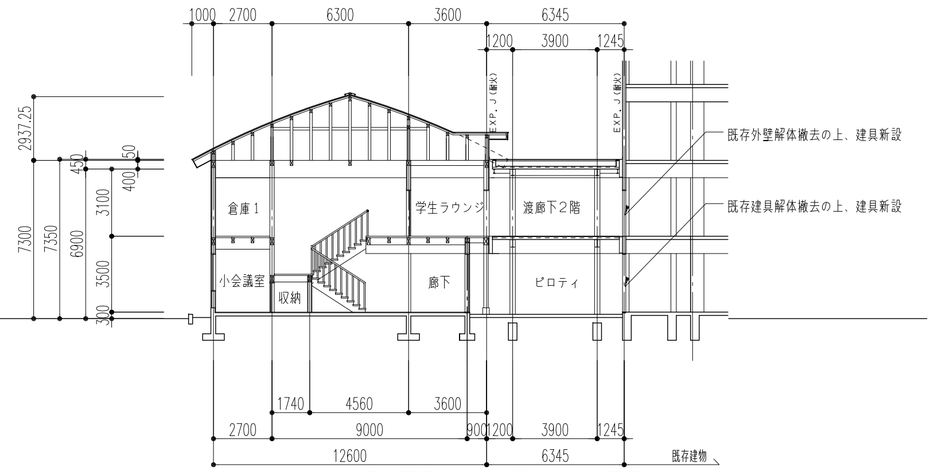
新校舎Ｙ１断面図



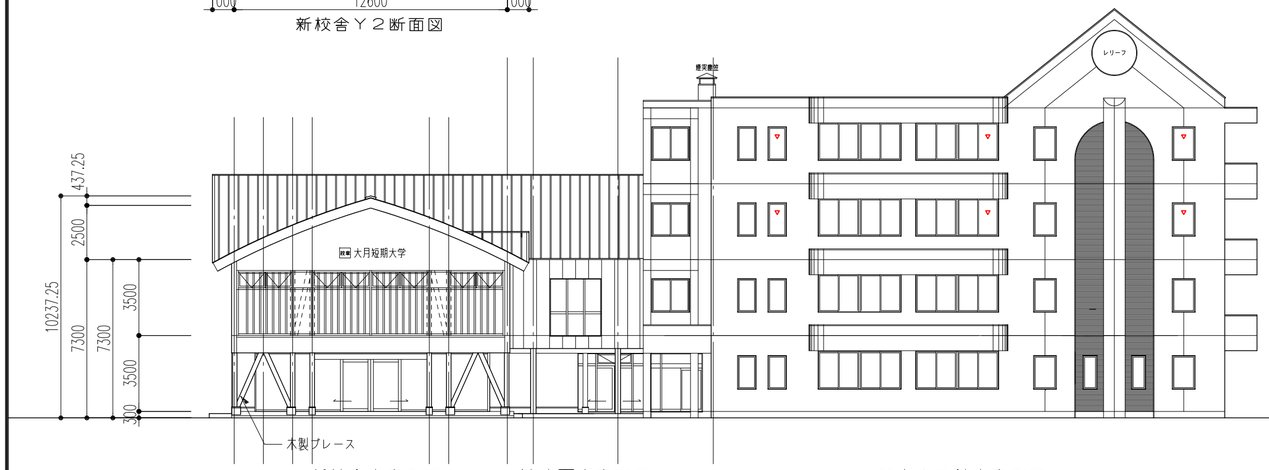
新校舎東立面図



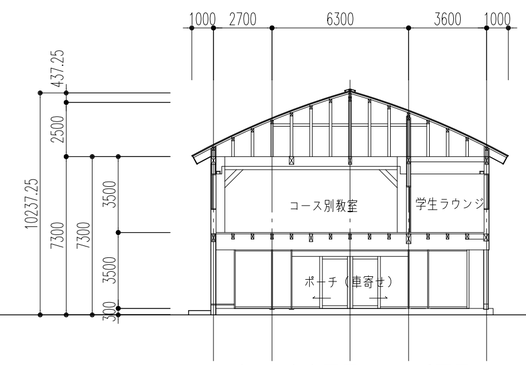
新校舎Ｙ２断面図



新校舎Ｙ３断面図　渡廊下Ｙ方向断面図

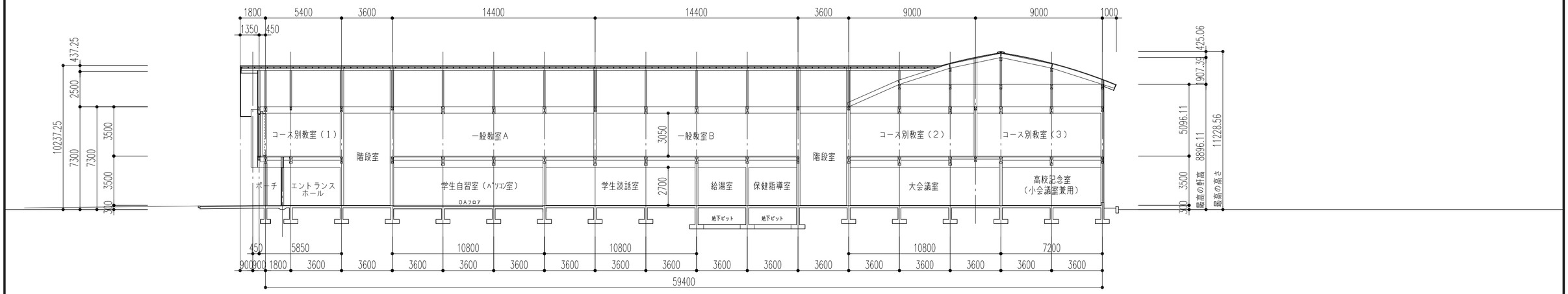


新校舎東立面図　渡廊下東立面図　既存Ｃ号館東立面図

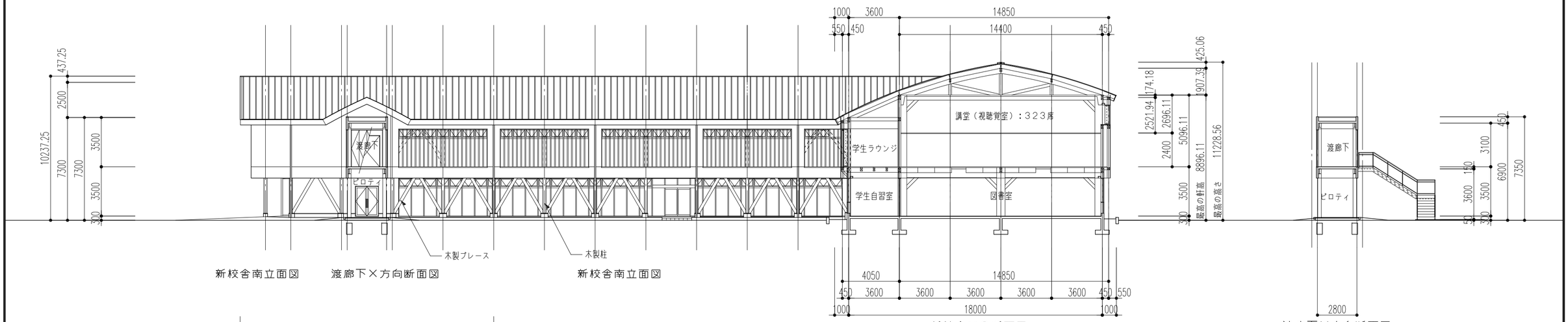


ポーチ東立面図・Ｙ４断面図

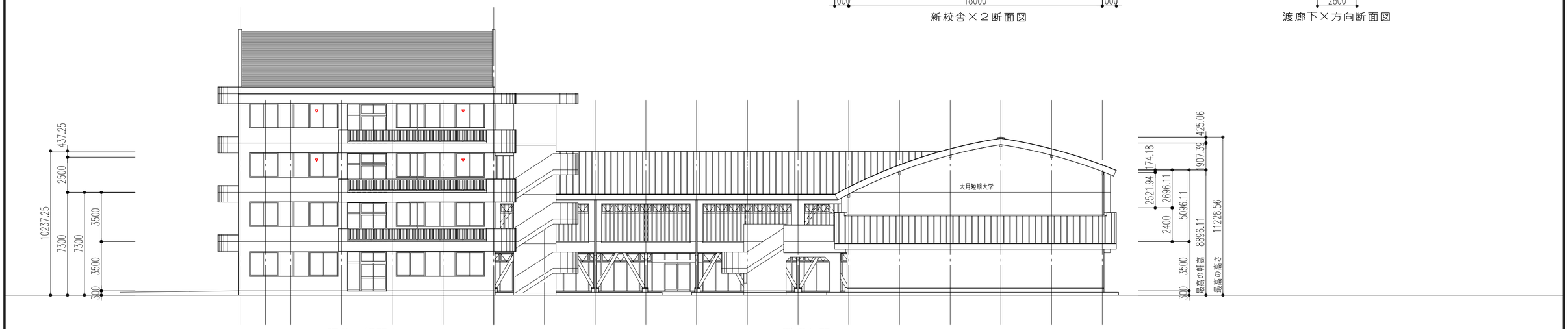
綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 A2:1/200、A4:1/400 設計年月日 00・00・00	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－21
					図面名称	立面図・断面図（１）	No,



新校舎×1断面図

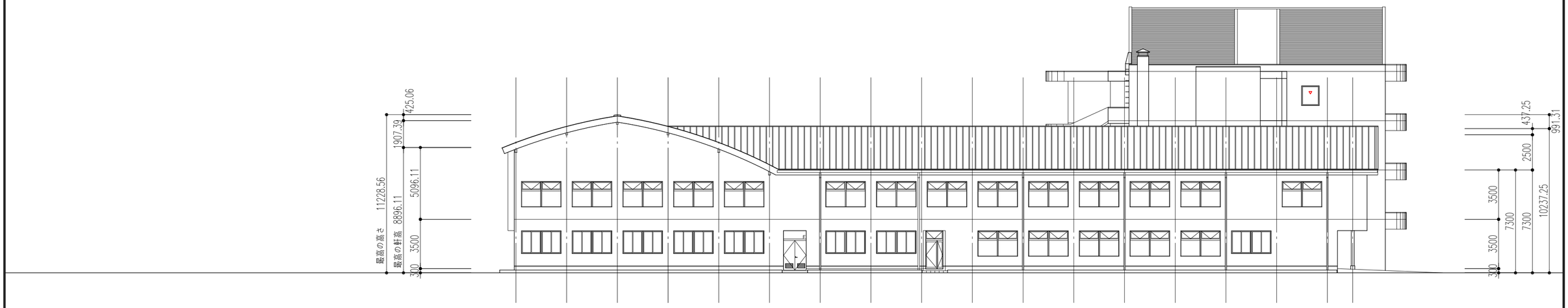


新校舎南立面図　渡廊下×方向断面図　新校舎南立面図　新校舎×2断面図　渡廊下×方向断面図



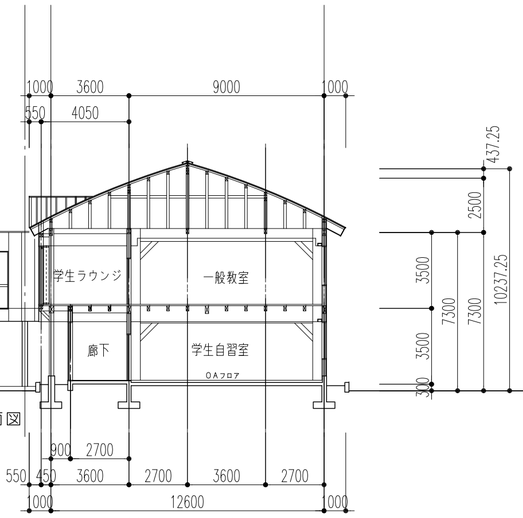
既存C号館南立面図　新校舎南立面図

綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 A2:1/200、A4:1/400 設計年月日 00・00・00	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－22
					図面名称	立面図・断面図（2）	No,



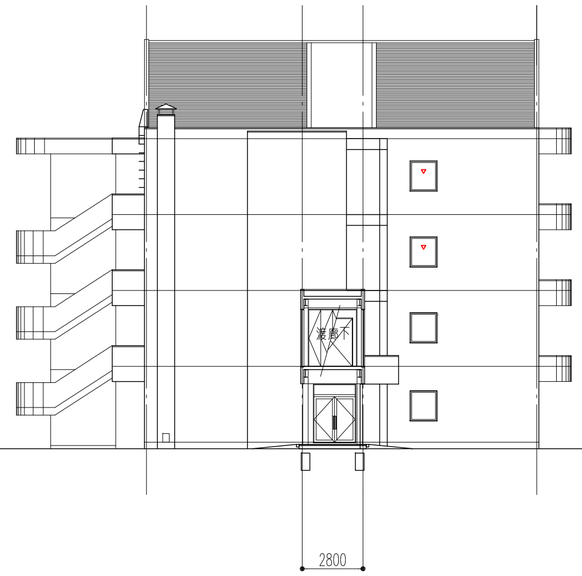
新校舎北立面図

既存Ｃ号館東立面図

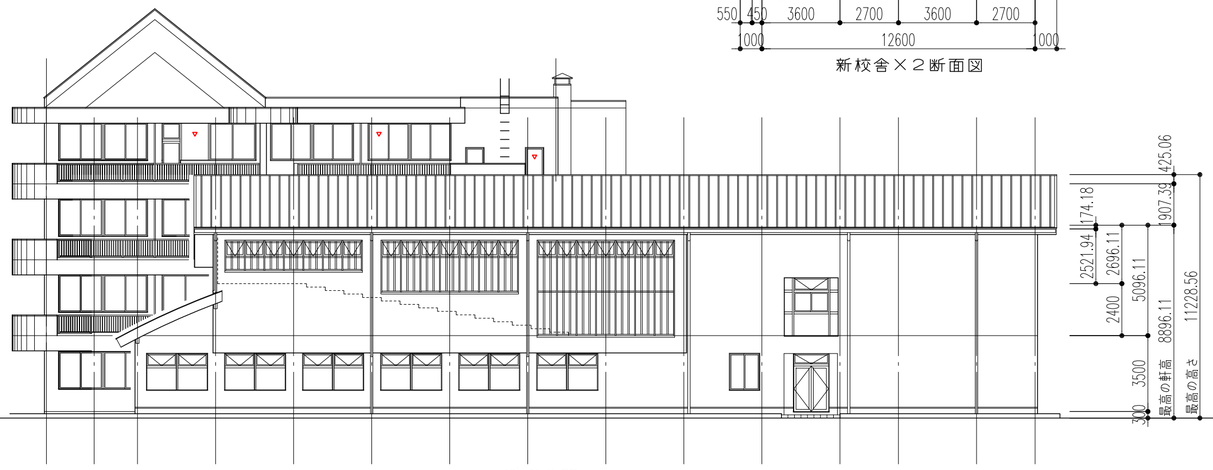


渡廊下東立面図

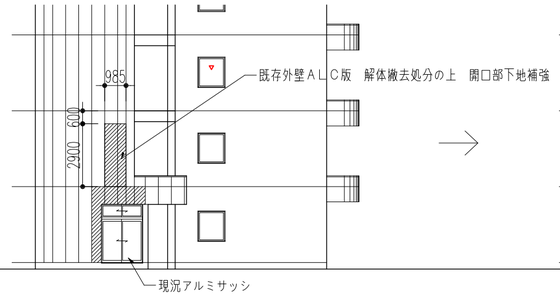
新校舎Ｘ２断面図



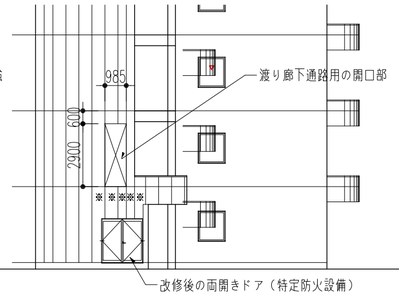
渡廊下Ｘ方向断面図・既存Ｃ号館北立面図



新校舎東立面図



既存Ｃ号館北立面図（既存壁ＡＬＣ版　解体撤去範囲）

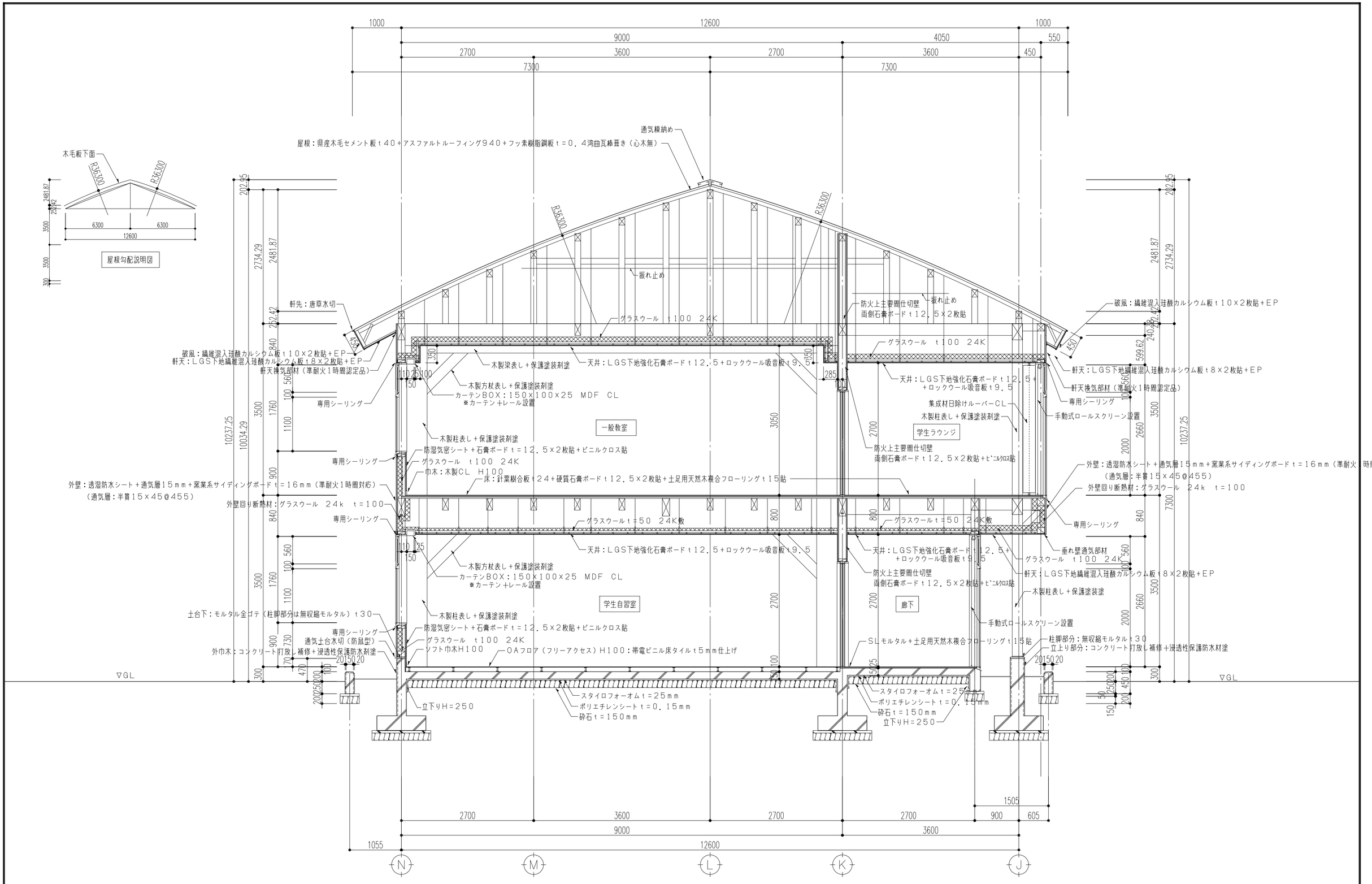


既存Ｃ号館北立面図（改修後）

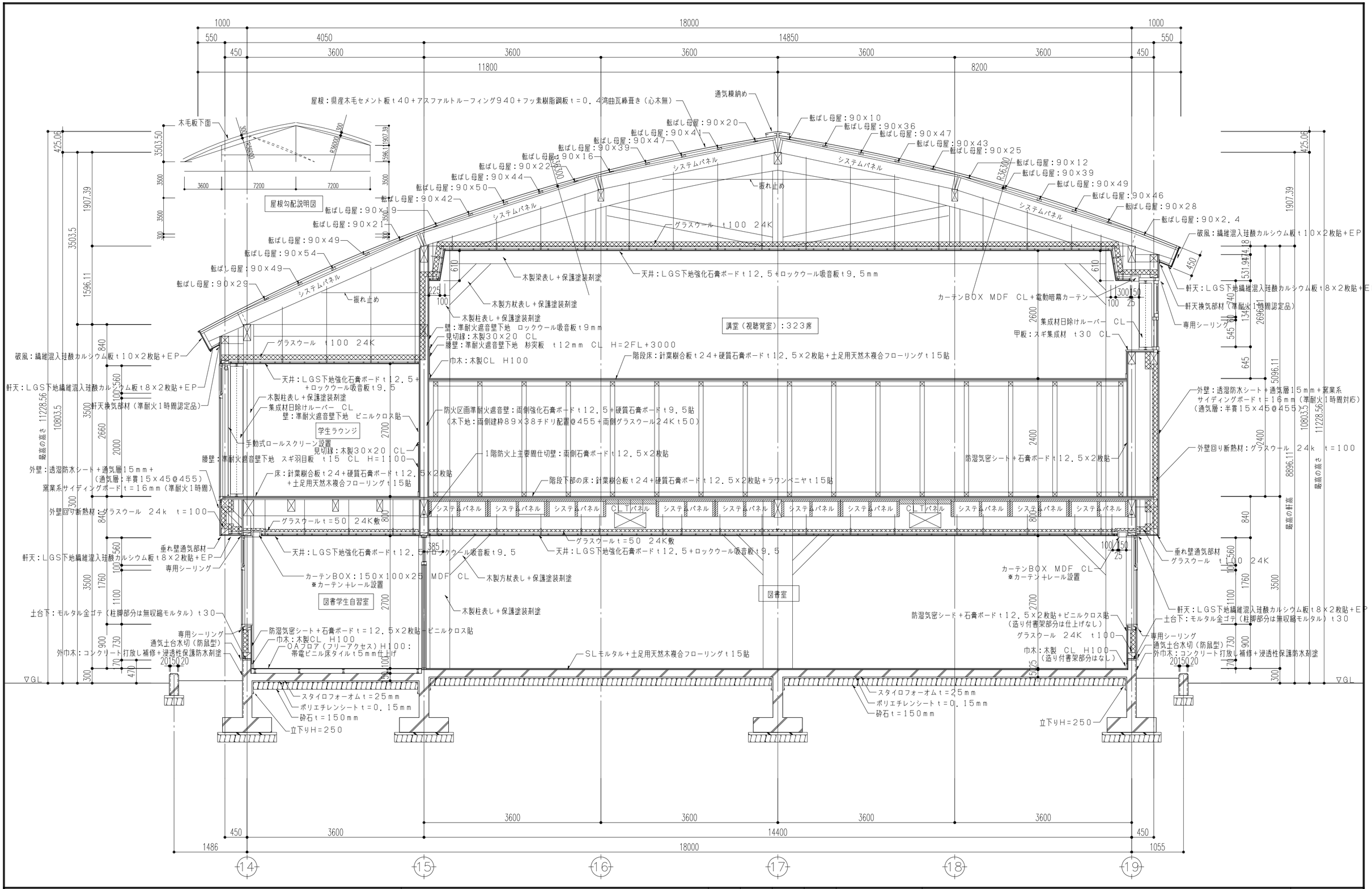
※＝新設ＡＬＣ　ｔ＝100　アクリル系弾性吹付タイル仕上

＝ 解体撤去処分する外壁ＡＬＣ版を示す

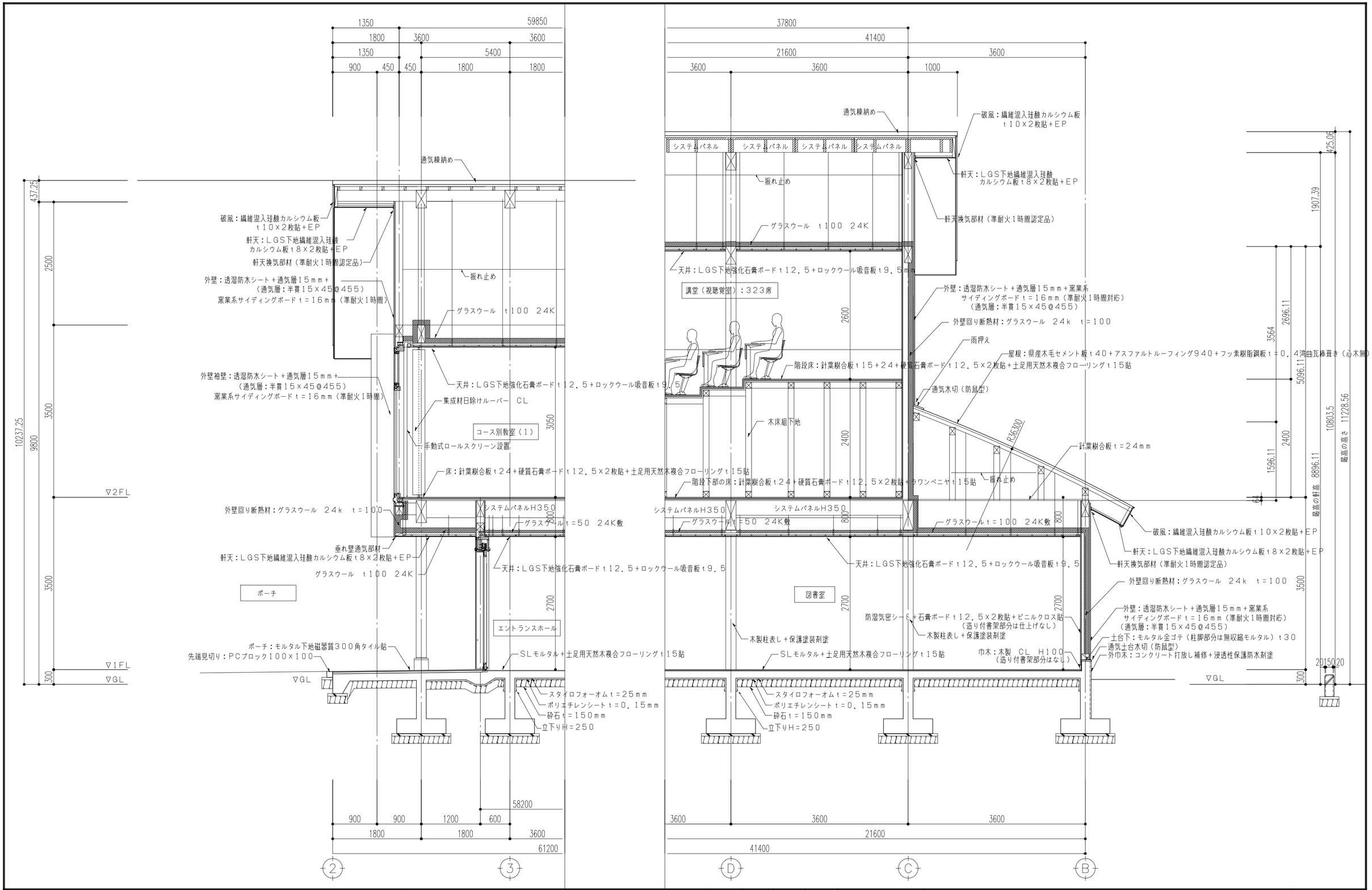
綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 A2:1/200、A4:1/400 設計年月日 00・00・00	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－23
					図面名称	立面図	No,



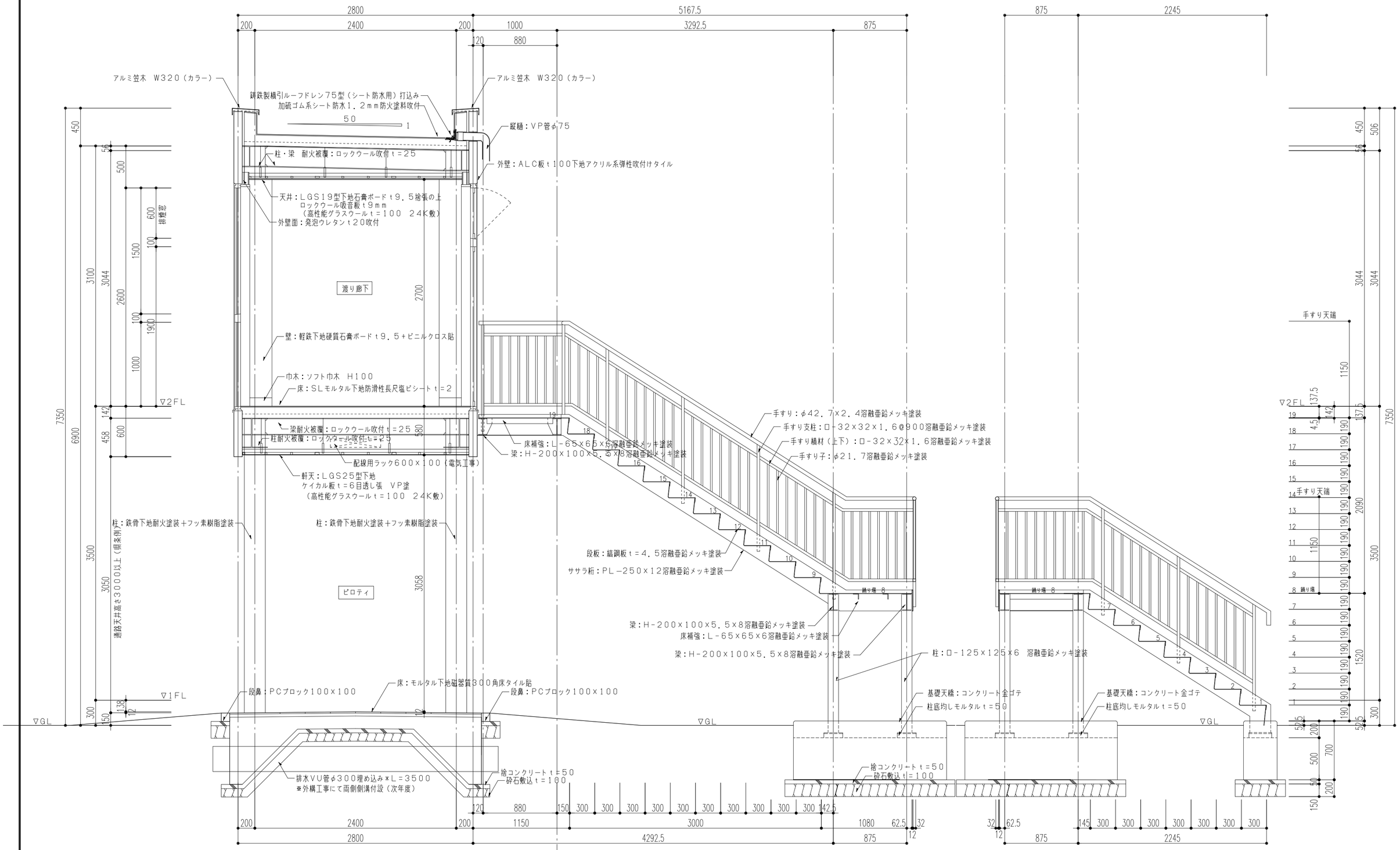
綜合建築設計事務所	承認	設計	担当	縮尺 A21:1/50. A4:1/100	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D-24
一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号				設計年月日 00・00・00	図面名称	矩計図（１）	No,
一級建築士 登録 第 110879号 小林 一							



綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 A2:1/50. A4:1/100 設計年月日 00・00・00	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－25
					図面名称	矩計図（２）	No,



綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 A2:1/50. A4:1/100 設計年月日 00・00・00	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－26
					図面名称	矩計図（3）	No,



綜合建築設計事務所 一級建築士事務所 登録(梨)第1－24366号 一級建築士 登録 第 110879号 小林 一	承認	設計	担当	縮尺 A2:1/30. A4:1/60 設計年月日	工事名称	大月短期大学新校舎建設工事	D－27
					図面名称	矩計図（4）	No,